

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
国  語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	1 以上	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	（人文学類開設） ◎日本語学概論-a, ◎日本語学概論-b, 日本語音韻論-a・-b, 日本語文法論-a・-b, 日本語史-a・-b, 日本語学演習 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, 日本語学講読 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 応用言語学講義 IV-a・-b, 応用言語学演習 IV-a・-b	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上	1 以上	国文学	（比較文化学類開設） ◎日本文学概論, 日本文学講読1～8, 日本文学演習1～8, 日本文学特講1・2	
				国文学史	（比較文化学類開設） ◎日本文学史	
	漢文学	1 以上	1 以上	漢文学	（人文学類開設） ◎漢文学概論	
書道（書写を中心とする。）	1 以上	—	書道（書写を中心とする。）	（共通科目開設） ◎芸術（書A・B・C）	3科目から1科目選択必修（中学のみ）	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎ <u>日本史概説 I-a・-b(2科目セット)</u> , ◎ <u>日本史概説 II-a・-b(2科目セット)</u> , 考古学概説-a・-b, 民俗学概説 a, 日本史特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b 考古学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 民俗学特講-a・-b,	下線2つから1つを選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎ <u>中国史概説-a・-b</u> , ◎ <u>ヨーロッパ史概説-a・-b</u> , ◎ <u>古代西アジア史概説-a・-b</u> , 先史学概説-a・-b, 文化人類学概説, 中国史特講 I-a・-b, II-a・-b, 古代西アジア史特講 I-a・-b, II-a・-b, 先史学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 文化人類学講義 I-a・-b, II-a・-b	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(人文学類開設) ◎ <u>歴史地理学概説-a・-b</u> , 歴史地理学研究法-a・-b	下線2科目から1科目選択必修
			地誌	(人文学類開設) ◎歴史地誌学-a ◎歴史地誌学-b	1科目選択必修
	「法律学, 政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> , ◎ <u>民事法概論</u> , ◎ <u>政治学概論</u> , ◎ <u>国際政治史</u> , 民法総論, 刑法総論, 刑法各論, 憲法 I~III, 商法 I, 会社法 I・II, 国際安全保障論, アメリカ外交史, 行政学, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学 (国際総合学類開設) 国際法 I, 国際組織法	下線4科目から1科目選択必修
	「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(人文学類開設) ◎ <u>人間社会と宗教</u> (社会学類開設) ◎ <u>社会学基礎論</u> , ◎ <u>現代社会論</u> , ◎ <u>現代経済史</u> , ◎ <u>経済学基礎論</u>	下線5科目から1科目選択必修
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎ <u>哲学通論-a・-b</u> , ◎ <u>倫理学通論-a・-b</u> , ◎ <u>宗教学通論-a・-b</u> , 東洋思想-a・-b, 哲学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 哲学史 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 倫理学特講 I-a・-b, II-a・-b, 倫理思想史 I-a・-b, II-a・-b, 宗教学-a・-b, 宗教哲学-a・-b, 比較思想論-a・-b, 東洋宗教思想史-a・-b, 西洋宗教思想史-a・-b	下線6科目から2科目選択必修	
合計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」 内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 史	日本史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎ <u>日本史概説 I-a・-b</u> (2科目セツト), ◎ <u>日本史概説 II-a・-b</u> (2科目セツト), 考古学概説-a・-b, 民俗学概説, 日本史特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 考古学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 民俗学特講-a・-b,	下線 2 つか ら 1 つを選 択必修
	外国史	1 以上	外国史	(人文学類開設) ◎ <u>中国史概説-a・-b</u> , ◎ <u>ヨーロッパ史概説-a・-b</u> , ◎ <u>古代西アジア史概説-a・-b</u> , 先史学概説-a・-b, 文化人類学概説, 中国史特講 I-a・-b, II-a・-b, 古代西アジア史特講 I-a・-b, II-a・-b, 先史学特講 I-a・-b, II-a・-b, III-a・-b, IV-a・-b, 文化人類学講義 I-a・-b, II-a・-b	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修及 び二重下線 4 科目から 1 科目選択 必修
	人文地理学及び 自然地理学	1 以上	人文地理学	(人文学類開設) ◎ <u>歴史地理学概説-a・-b</u> , 歴史地理学研究法-a・-b (地球学類開設) 人文地理学, 地球環境学 2, 地理情報システム (GIS)	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			自然地理学	(地球学類開設) ◎ <u>地球環境学 1</u> , ◎ <u>地形学</u> , 地生態学, 海洋学	
地誌	1 以上	地誌	(人文学類開設) ◎ <u>歴史地誌学-a・-b</u> (地球学類開設) 地誌学	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修	
合計 (高校一種)		2 0			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> ， ◎ <u>民法法概論</u> ， 民法総則， 刑法総論，刑法各論，憲法 I～III， 商法 I，会社法 I・II	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際法	(国際総合学類開設) 国際法 I，国際組織法	
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学概論</u> ， ◎ <u>国際政治史</u> ， 行政学	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学，アメリカの政治， 国際政治学， 国際安全保障論， アメリカ外交史	
	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(人文学類開設) ◎人間社会と宗教	
民	「哲学，倫理学，宗 教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学， 宗教学」	(人文学類開設) ◎ <u>哲学通論-a・-b</u> ， ◎ <u>倫理学通論-a・-b</u> ， ◎ <u>宗教学通論-a・-b</u> ， 東洋思想-a・-b， 哲学特講 I-a・-b，II-a・-b， III-a・-b，IV-a・-b， 哲学史 I-a・-b，II-a・-b，III-a・-b， IV-a・-b， 倫理学特講 I-a・-b，II-a・-b， 倫理思想史 I-a・-b，II-a・-b， 宗教学-a・-b， 宗教哲学-a・-b， 比較思想論-a・-b， 東洋宗教思想史-a・-b， 西洋宗教思想史-a・-b	下線6科目 から2科目 選択必修
合計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は，区分「法律学及び国際法」，区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。

人文・文化学群 人文学類

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
英語	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論-a・-b</u> , 英語文法論・統語論(1)-a・-b, 英語文法論・統語論(2)-a・-b, 英語学演習(1)-a・-b, 英語学演習(2)-a・-b, 英語学演習(3)-a・-b, 英語学演習(4)-a・-b, 英語意味論・語用論(1)-a・-b, 英語意味論・語用論(2)-a・-b, 英語音韻論・形態論(1)-a・-b, 英語音韻論・形態論(2)-a・-b, 応用言語学講義 I-a・-b, 応用言語学演習 I-a・-b, 応用言語学演習 II-a・-b	下線2科目 から1科目選 択必修
	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>英語圏文学論 I</u> , ◎ <u>英語圏文学論 II</u> , ◎ <u>英語圏文学論 III</u> , 英語圏文学・文化研究 I~III	下線3科目 から1科目選 択必修
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎ <u>英語論文講読(1)-a・-b</u> , ◎ <u>英語論文講読(2)-a・-b</u> , ◎ <u>外書講読 I-a・-b</u> , ◎ <u>外書講読 II-a・-b</u> , 英語論文講読(3)-a・-b, 英語論文講読(4)-a・-b, 英語学論文演習-a・-b	下線8科目 から1科目選 択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米文化論 V</u> , ◎ <u>欧米文化論 VI</u> , ◎ <u>欧米文化論 VII</u> , ◎ <u>欧米文化論 VIII</u>	下線4科目 から1科目選 択必修
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
ド イ ツ 語	ドイツ語学	1以上	1以上	ドイツ語学	(人文学類開設) ◎独語学概論 ドイツ語文法論・統語論・a・b・c ドイツ語意味論・語用論・a・b・c ドイツ語学講義 I・a・b・c ドイツ語学講義 II・a・b・c ドイツ語学演習 I・a・b・c ドイツ語学演習 II・a・b・c ドイツ語演習 I・a・b・c	
	ドイツ文学	1以上	1以上	ドイツ文学	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化論 I, ドイツ語圏文学・文化論 II, ドイツ語圏文学・文化演習 I・II	
	ドイツ語コミュニケーション	1以上	1以上	ドイツ語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎ <u>ドイツ語演習 II・a・b・c</u>	下線は3科目から1科目選択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化概論,	
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
フ ラ ン ス 語	フランス語学	1以上	1以上	フランス語学	(人文学類開設) ◎ <u>仏語文法論・a・b・c</u> 仏語学概論 仏語文法講読・a・b・c 仏語史講義・a・b・c 仏語意味論・a・b・c 仏語学演習 I・ <u>a・b・c</u> 仏語学演習 II・ <u>a・b・c</u>	下線は3科目から1科目選択必修
	フランス文学	1以上	1以上	フランス文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>フランス語圏文学・文化概論 I,</u> ◎ <u>フランス語圏文学・文化講読 I,</u> ◎ <u>フランス語圏文学・文化講読 III,</u> フランス語圏文学・文化講読 II, IV	下線は3科目から1科目選択必修
	フランス語コミュニケーション	1以上	1以上	フランス語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎ <u>仏語音声学・音韻論・a・b・c</u> 仏語演習・a・b・c	下線は3科目から1科目選択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 II テキスト文化学研究 II, テキスト文化学演習 III	
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 人文学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
中 国 語	中国語学	1以上	1以上	中国語学	(人文学類開設) ◎中国語学概論 中国語学講義-a・b 中国語学演習 I-a・b 中国語学演習 II-a・b	
	中国文学	1以上	1以上	中国文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史, ◎中国文学講読 I・II(2科目セット), 中国文学演習 I・II	下線3つ からい ずれ か選 択 必 修
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	中国語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎中国語演習-a・b	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎アジアの民族と文化 I, アジアの民族と文化 II, アジアの民族と文化演習 I~IV	
	合計 (中学一種, 高校一種)	20	20			

注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
国 語	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	1以上	1以上	国語学(音声言語及び文章表現に関するものを含む。)	(日本語・日本文化学類開設) ◎現代日本語概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 日本語の音声・音韻, 日本語の音声・音韻演習, 日本語の文法Ⅰ～Ⅳ, 日本語の文法演習Ⅰ・Ⅱ, 日本語の語彙, 日本語の語彙演習, 日本語コーパス分析, 日本語コーパス分析演習, 日本語の談話, 日本語の談話演習, 日本語の語用論, 日本語の語用論演習, 日本語音韻史, 日本語文法史, 日本語方言論, 日本語動態論, 世界の言語と日本語, 日本語談話研究フィールド実習Ⅰ・Ⅱ, 日本語方言研究フィールド実習Ⅰ・Ⅱ	
	国文学(国文学史を含む。)	1以上	1以上	国文学	(比較文化学類開設) ◎日本文学概論, 日本文学講読1～8, 日本文学演習1～8, 日本文学特講1・2	
				国文学史	(比較文化学類開設) ◎日本文学史	
	漢文学	1以上	1以上	漢文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史, 中国文学講読Ⅰ・Ⅱ, 中国文学演習Ⅰ・Ⅱ	下線2科目から1科目選択必修
	書道(書写を中心とする。)	1以上	—	書道(書写を中心とする。)	(共通科目開設) ◎芸術(書A・B・C)	3科目から1科目選択必修(中学のみ)
合計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎アジア研究概論, 文化人類学概論, 文化創造論概論, 先端文化学概論, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・Ⅹ	
	地理学(地誌を含む)	1以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 比較文化地理学Ⅱ (地球学類開設) ◎都市地理学, 交通地理学, 農村地理学(3科目 セット) ◎地球環境学Ⅰ	下線3つから1つを選択必修
		地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域地理学Ⅰ・Ⅱ (地球学類開設) 社会地域論, 観光地域論, 経済地域論		
会	「法律学, 政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法Ⅰ～Ⅲ, 商法Ⅰ, 会社法Ⅰ・Ⅱ, 有価証券法基礎, 電子記録債権法(電子手形), 行政法, 刑事訴訟法, 民事訴訟法A・B, 比較憲法, 開発法学, ◎政治学概論, ◎国際政治史, 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際安全保障論, アメリカ外交史, 現代政治外交	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線2科目から1科目選択必修
	「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(比較文化学類開設) ◎情報文化概論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論, 広告文化論, 映像文化論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論Ⅰ・Ⅱ, ◎比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ, 文化創造論研究Ⅴ, 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ, 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ, 記号文化論, 分析哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論Ⅲ～Ⅵ	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線2科目から1科目選択必修
	合計 (中学一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 史	日本史	1以上	日本史	(比較文化学類開設) ◎日本研究概論Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	
	外国史	1以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, ◎アジア研究概論, 文化人類学概論, 文化創造論概論, 先端文化学概論, 文化人類学研究Ⅰ・Ⅱ, 欧米文化論Ⅰ・Ⅱ・Ⅸ・Ⅹ	
	人文地理学及び自然 地理学	1以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学Ⅱ (地球学類開設) ◎都市地理学, 交通地理学, 農村地理学(3科 目セット)	下線2つか ら1つを選 択必修
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学Ⅰ	
地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学, 社会地域論, 観光地域論, 経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学Ⅰ・Ⅱ		
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> ， ◎ <u>民事法概論</u> ， 民法総則，契約， 事務管理・不当利得・不法行為， 債権総論，物権， 担保物権，親族・相続， 刑法総論，刑法各論， 憲法Ⅰ～Ⅲ，商法Ⅰ，会社法Ⅰ・Ⅱ， 有価証券法基礎， 電子記録債権法（電子手形）， 行政法，刑事訴訟法， 民事訴訟法A・B	下線2科目 から1科目 選択必修
			法律学（国際法を含む。）	(社会学類開設) 比較憲法， 開発法学	
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学概論</u> ， ◎ <u>国際政治史</u> ， 現代政治分析，政治過程論， 行政学，地方自治論	下線2科目 から1科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学，アメリカの政治， 国際政治学，国際安全保障論， アメリカ外交史，現代政治外交	
民	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(比較文化学類開設) ◎ <u>情報文化概論</u>	
			経済学（国際経済を含む。）	(比較文化学類開設) 広告文化論，映像文化論， コミュニケーション論， メディア・コミュニケーション論	
	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学」	(比較文化学類開設) ◎ <u>現代思想概論Ⅰ・Ⅱ</u> ， ◎ <u>比較宗教概論Ⅰ・Ⅱ</u> ， 文化創造論研究Ⅴ， 表象芸術論研究Ⅰ・Ⅱ， 先端文化学研究Ⅲ～Ⅵ，記号文化論， 分析哲学，現代倫理学，哲学カフェ， 日本・東洋思想史研究Ⅰ・Ⅱ， 比較思想研究，比較思想史研究， 比較宗教論Ⅲ～Ⅵ	下線2科目 から1科目 選択必修及 び二重下線 2科目から 1科目選択 必修
合計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法律学及び法律学（国際法を含む。）」、  
 区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。

人文・文化学群 比較文化学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
英 語	英語学	1 以上	1 以上	英語学	(人文学類開設) ◎ <u>英語学概論</u> -a・-b, 英語文法論・統語論(1)-a・-b, 英語文法論・統語論(2)-a・-b, 英語学演習(1)-a・-b, 英語学演習(2)-a・-b, 英語学演習(3)-a・-b, 英語学演習(4)-a・-b, 英語意味論・語用論(1)-a・-b, 英語意味論・語用論(2)-a・-b, 英語音韻論・形態論(1)-a・-b, 英語音韻論・形態論(2)-a・-b, 応用言語学講義 I -a・-b, 応用言語学演習 I -a・-b, 応用言語学演習 II -a・-b	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
	英語文学	1 以上	1 以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎ <u>英語圏文学論 I</u> , ◎ <u>英語圏文学論 II</u> , ◎ <u>英語圏文学論 III</u> , 英語圏文学・文化研究 I~III	下線 3 科目 から 1 科目 選択必修
	英語コミュニケーション	1 以上	1 以上	英語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎ <u>英語論文講読(1)</u> -a・-b, ◎ <u>英語論文講読(2)</u> -a・-b, ◎ <u>外書講読 I</u> -a・-b, ◎ <u>外書講読 II</u> -a・-b, 英語論文講読(3)-a・-b, 英語論文講読(4)-a・-b, 英語学論文演習-a・-b	下線 8 科目 から 1 科目 選択必修
	異文化理解	1 以上	1 以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米文化論 V</u> , ◎ <u>欧米文化論 VI</u> , ◎ <u>欧米文化論 VII</u> , ◎ <u>欧米文化論 VIII</u>	下線 4 科目 から 1 科目 選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 比較文化学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
ドイツ語	ドイツ語学	1以上	1以上	ドイツ語学	(人文学類開設) ◎独語学概論, ドイツ語文法論・統語論-a・b・c, ドイツ語意味論・語用論-a・b・c, ドイツ語学講義 I-a・b・c, ドイツ語学講義 II-a・b・c, ドイツ語学演習 I-a・b・c, ドイツ語学演習 II-a・b・c, ドイツ語演習 I-a・b・c	
	ドイツ文学	1以上	1以上	ドイツ文学	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化論 I ドイツ語圏文学・文化論 II, ドイツ語圏文学・文化演習 I・II	
	ドイツ語コミュニケーション	1以上	1以上	ドイツ語コミュニケーション	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語翻訳演習 I ドイツ語翻訳演習 II ◎ドイツ語翻訳演習 III ドイツ語翻訳演習 IV	下線は2科目から1科目選択必修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎ドイツ語圏文学・文化概論	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
フランス語	フランス語学	1以上	1以上	フランス語学	(人文学類開設) ◎仏語文法論-a・b・c, 仏語学概論, 仏語文法講読-a・b・c, 仏語意味論-a・b・c, 仏語史講義-a・b・c, 仏語学演習 I-a・b・c, 仏語学演習 II-a・b・c	下線は3科目から1科目選択必修
	フランス文学	1以上	1以上	フランス文学	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 I, ◎フランス語圏文学・文化講読 I, ◎フランス語圏文学・文化講読 III, フランス語圏文学・文化講読 II, IV	下線は3科目から1科目選択必修
	フランス語コミュニケーション	1以上	1以上	フランス語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎仏語音声学・音韻論-a・b・c, (比較文化学類開設) フランス語圏文学・文化演習 I・II	
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎フランス語圏文学・文化概論 II※ テキスト文化学研究 II, テキスト文化学演習 III 文化創造論演習 I	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

2. ※印の科目は平成26年度までに取得した場合、「フランス文学」の区分に属する。

人文・文化学群 比較文化学類（平成30年度以前入学者対象）

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
中 国 語	中国語学	1以上	1以上	中国語学	(人文学類開設) ◎中国語学概論 a・b(2科目セット), 中国語文法論 a・b 中国語語彙論 a・b 中国語学演習 Ia・Ib・IIa・IIb 中国語学特講 Ia・Ib・IIa・IIb	
	中国文学	1以上	1以上	中国文学	(比較文化学類開設) ◎中国文学概論, ◎中国文学史 I, ◎中国文学史 II, ◎中国文学講読 I・II(2科目セット) 中国文学購読III～V 中国文学演習 I～III	下線4つ からい ずれ か選 択 必 修
	中国語コミュニケーション	1以上	1以上	中国語コミュニケーション	(人文学類開設) ◎中国語論文演習 a・b(2科目セット) ◎中国語作文演習 a・b(2科目セット)	2つから1 つを選 択 必 修
	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(比較文化学類開設) ◎中国の言語と文化 a ◎中国の言語と文化 b	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
国 語	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	1 以上	1 以上	国語学（音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	（日本語・日本文化学類開設） ◎現代日本語概論 I, ◎現代日本語概論 II, 日本語の音声・音韻, 日本語の音声・音韻演習, 日本語の文法 I, 日本語の文法 II, 日本語の文法 III, 日本語の文法 IV, 日本語の文法演習 I, 日本語の文法演習 II, 日本語の語彙, 日本語の語彙演習, 日本語コーパス分析, 日本語コーパス分析演習, 日本語の談話, 日本語の談話演習, 日本語の語用論, 日本語の語用論演習, 日本語音韻史, 日本語文法史, 日本語方言論, 日本語動態論, 世界の言語と日本語, 日本語談話研究フィールド実習 I, 日本語談話研究フィールド実習 II, 日本語方言研究フィールド実習 I, 日本語方言研究フィールド実習 II	
	国文学（国文学史を含む。）	1 以上	1 以上	国文学	（日本語・日本文化学類開設） ◎日本の文学概論, 日本文学とその特質演習 I, 日本文学とその特質演習 II, 日本文学と自然, 国語科教育と文学, 国語科教育と文学演習	
				国文学史	（日本語・日本文化学類開設） ◎日本文学の歴史	
	漢文学	1 以上	1 以上	漢文学	（日本語・日本文化学類開設） ◎中国文学と日本文学, ◎中国文学と日本文学演習 I	2 科目から 1 科目選択必修
書道（書写を中心とする。）	1 以上	—	書道（書写を中心とする。）	（共通科目開設） ◎芸術（書 A・B・C）	3 科目から 1 科目選択必修（中学のみ）	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 平成30年度以前入学の日本語・日本文化学類生にあっては, 現代日本語概論 I および現代日本語概論 II にかわり, 現代日本語概論（日本語・日本文化学類開設）を必修科目とすることができる。

人文・文化学群 日本語・日本文化学類（平成29年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論, 日本の宗教と芸能, 日本の経済と文化 近代日本の文化交流, 近代日本の文化交流演習 (比較文化学類開設) 日本研究概論 I・II, 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究 I・II	
			外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, 文化人類学概論	
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学1, ◎都市地理学・農村地理学(2科目セット), (比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 比較文化地理学 II	下線3つ からい ずれか 選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 観光地域論, 経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学 I・II (日本語・日本文化学類開設) 日本の地誌と生活	
会	「法律学, 政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の政治と社会 (社会学類開設) 法学概論, 民法概論, 政治学概論, 国際政治史	
	「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, ◎現代経済史, ◎経済学基礎論 (比較文化学類開設) 情報文化概論, 広告文化論, 映像文化論, コミュニケーション論, メディア・コミュニケーション論 (日本語・日本文化学類開設) 日本語・日本文化国際研修 I~III	下線は4 科目から 1科目選 択必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論 I・II から1科目, ◎比較宗教概論 I・II から1科目	下線及び 二重下線 から2科 目選択必 修
合 計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタル史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し, 東洋の歴史と文化と併せて, 区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 6. 平成28年度以前入学者にあつては, 地域研究論 A~C (3科目セット) を必修科目とすることができる。  
 7. 平成30年度以前に社会地理学 A~C (3科目セット), 自然環境論 (いずれも比較文化学類開設) を修得済みの者にあつては, 当該の科目を必修科目とすることができる。  
 8. 平成30年度以前に日本の政治と社会 I・II (日本語・日本文化学類開設) を修得済みの者にあつては, 当該の科目 (2科目) を必修科目とすることができる。



人文・文化学群 日本語・日本文化学類（平成29年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 史	日本史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論, 日本の宗教と芸能, 日本の経済と文化 近代日本の文化交流, 近代日本の文化交流演習 (比較文化学類開設) 日本研究概論Ⅰ・Ⅱ, 民俗学概論, 日本研究特論, 日本の生活と文化, 日本の宗教と文化, 日本の政治と社会, 民俗学研究Ⅰ・Ⅱ	
	外国史	1以上	外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論, 文化人類学概論	
	人文地理学及び自然地理学	1以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎都市地理学・農村地理学(2科目セット), (比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学Ⅱ	下線2つ からいずれ か選択 必修
			自然地理学	(地球学類開設) ◎地球環境学1	
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 観光地域論, 経済地域論 (比較文化学類開設) 地域地理学Ⅰ・Ⅱ (日本語・日本文化学類開設) 日本の地誌と生活	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b, オリエンタリズム概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し, 東洋の歴史と文化と併せて, 区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 4. 平成28年度以前入学者にあつては, 地域研究論 A～C (3科目セット) を必修科目とすることができる。  
 5. 平成30年度以前に生活文化の地理 (日本語・日本文化学類開設) を修得済みの者にあつては, 当該の科目を必修科目とすることができる。  
 6. 平成30年度以前に自然環境論 (比較文化学類開設) を修得済みの者にあつては, 当該の科目を必修科目とすることができる。

社会・国際学群 社会学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法学	(社会学類開設) ◎ <u>法学概論</u> , ◎ <u>民事法概論</u> , 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法 I ~ III, 商法 I, 会社法 I・II, 有価証券法基礎, 電子記録債権法（電子手形）, 行政法, 刑事訴訟法, 民事訴訟法 A・B	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			法学（国際法を含む。）	(社会学類開設) 比較憲法, 開発法学	
			政治学	(社会学類開設) ◎ <u>政治学概論</u> , ◎ <u>国際政治史</u> , 現代政治分析, 政治過程論, 行政学, 地方自治論	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			国際政治	(社会学類開設) 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際安全保障論, アメリカ外交史, 現代政治外交	
民	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(社会学類開設) ◎ <u>社会学基礎論</u> , ◎ <u>現代社会学</u> , 現代社会学の系譜, 都市社会学, 組織社会学, 知識社会学, 逸脱行動論-犯罪社会学 I, スポーツ文化論, 歴史社会学	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			経済学	(社会学類開設) ミクロ経済学, 日本経済史, ◎ <u>現代経済史</u> , ◎ <u>経済学基礎論</u> , 日本経済論, 経済思想史 I・II, 経済数学	
			経済学（国際経済を含む。）	(社会学類開設) 開発経済学, Economic History	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎ <u>哲学通論-a・-b</u> , ◎ <u>倫理学通論-a・-b</u> , ◎ <u>宗教学通論-a・-b</u> , 東洋思想-a・-b	下線 6 科目 から 2 科目 選択必修
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法学及び法学（国際法を含む。）」、区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」は、区分「社会学」、区分「経済学及び経済学（国際経済を含む。）」のいずれかを最低限修得すること。

社会・国際学群 社会学類（平成29年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数 中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説 I-a・b, II-a・b, 民俗学概説-a	下線 4 科目 から a・b と続く 2 科目 を選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎中国史概説-a・b, ◎ヨーロッパ史概説-a・b, ◎オリエント史概説-a・b, 先史学概説-a・b, 文化人類学概説-a・b	下線 2 科目 から 1 科目 選択 必修 及び 二重下線 4 科目 から 1 科目 選択 必修
	地理学（地誌を含む。）	1 以上	地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学, 交通地理学, 地理情報システム A・B, 地形学, 海洋学, 地球環境学 1・2, 地生態学	
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学, 世界地誌 I～III	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, ◎政治学概論, ◎国際政治史, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法 I～II, 商法 I, 会社法 I・II, 有価証券法基礎, 電子記録債権法（電子手形）, 行政法, 刑事訴訟法, 民事訴訟法 A・B, 比較憲法, 行政学, 地方自治論, 比較政治学, アメリカの政治, 国際政治学, 国際安全保障論, アメリカ外交史, 現代政治外交	下線は 4 科目 から 1 科目 選択 必修
会	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論, ◎経済学基礎論, ◎現代経済史, 現代社会学の系譜, 都市社会学, 組織社会学, 知識社会学, 逸脱行動論-犯罪社会学 I, スポーツ文化論, 歴史社会学, ミクロ経済学, 日本経済史, 日本経済論, 経済数学, 経済思想史 I・II, 開発経済学, Economic History	下線は 4 科目 から 1 科目 選択 必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論 a・b, ◎倫理学通論 a・b, ◎宗教学通論 a・b, 東洋思想 a・b	下線は 6 科目 から 2 科目 選択 必修
	合 計 (中学一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは 1 科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 国際総合学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
英	英語学	1以上	1以上	英語学	(人文学類開設) ◎英語学概論-a・-b, 英語文法論・統語論(1) -a・-b, 英語文法論・統語論(2) -a・-b,	下線2科目 から1科目 選択必修
	英語文学	1以上	1以上	英語文学	(比較文化学類開設) ◎英語圏文学論Ⅰ～Ⅲ, 英語圏文学・文化研究Ⅰ～Ⅲ	下線3科目 から1科目 選択必修
	英語コミュニケーション	1以上	1以上	英語コミュニケーション	(国際総合学類開設) ◎English Discussion Seminar (A), ◎English Discussion Seminar (B), ◎English Discussion Seminar (C), ◎English Discussion Seminar (D), English Debate	下線4科目 から1科目 選択必修
語	異文化理解	1以上	1以上	異文化理解	(国際総合学類開設) ◎文化・開発論, 開発人類学, 国際文化論, 地域開発論, Social Anthropology (社会人類学)	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 国際総合学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (国際総合学類開設) 現代日本外交史	
			外国史	(日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (国際総合学類開設) 国際関係史序説	
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(国際総合学類開設) ◎地理学概論 水環境論 野外調査法	
			地誌	(国際総合学類開設) ◎Social Anthropology	
「法学, 政治学」	1以上	「法学, 政治学」	(国際総合学類開設) ◎国際学Ⅰ, 比較政治学, 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学Ⅰ, 国際法概論, 国際法Ⅰ, 国際組織法, 日本政治		
「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(国際総合学類開設) ◎国際学Ⅱ, ◎国際学Ⅲ, 国際経済論, 開発経済学, 国際金融論, 国際貿易論, 計量経済学, 初級ミクロ経済学, 世界経済史, 公共経済学, 経済数学, マクロ経済学概論, ヨーロッパ社会経済史, Comparative Economics, 社会開発論	下線は2科目から1科目選択必修	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論CⅠ, CⅡ, DⅠ, DⅡ (哲学通論CⅠ, DⅠは同一科目 哲学通論CⅡ, DⅡは同一科目) (人文学類開設) 哲学通論a・b, 倫理学通論a・b, 宗教学通論a・b		
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

社会・国際学群 国際総合学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(国際総合学類開設) ◎法学概論	
			国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法概論 国際法 I, 国際組織法	
			政治学	(国際総合学類開設) ◎比較政治学 日本政治, 現代日本外交史	
			国際政治	(国際総合学類開設) ◎国際学 I, 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学 I	
民	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	社会学	(国際総合学類開設) ◎国際学 III, 現代社会論, ジェンダー社会論	
			経済学	(国際総合学類開設) ◎初級ミクロ経済学 計量経済学, マクロ経済学概論, 世界経済史, 都市経済学, 公共経済学, 経済数学, ヨーロッパ社会経済史, <b>Comparative Economics</b>	
			国際経済	(国際総合学類開設) ◎国際学 II, 国際経済論, 開発経済学, 国際金融論, 国際貿易論, 社会開発論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(全学群対象) ◎哲学通論 C I, C II, D I, D II 〔 哲学通論 C I, D I は同一科目 哲学通論 C II, D II は同一科目 〕 (人文学類開設) 哲学通論 a・b, 倫理学通論 a・b, 宗教学通論 a・b (心理学類開設) 社会心理学	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法律学及び国際法」,区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」は、区分「社会学」,区分「経済学及び国際経済」のいずれかを最低限修得すること。

社会・国際学群 国際総合学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) ◎科学技術倫理 知的財産と技術移転	
	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理 (実習を含む。)	(国際総合学類開設) ◎情報科学 I 情報科学 II,	
	情報システム(実習を含む。)	1 以上	情報システム (実習を含む。)	(国際総合学類開設) ◎Cプログラミング, データ解析	
報	情報通信ネットワーク (実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク	(国際総合学類開設) 情報セキュリティ	
			情報通信ネットワーク (実習を含む。)	(情報科学類開設) ◎コンピュータネットワーク	
	マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術	(国際総合学類開設) 音声聴覚情報処理, パターン認識, デジタル信号処理	
			マルチメディア表現及び技術 (実習を含む。)	(国際総合学類開設) ◎知能情報メディア実験 B	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業	
合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(教育学類開設) ◎日本史概論, 日本教育史	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	
	地理学(地誌を含む。)	1 以上	地理学	(教育学類開設) ◎地理学概論	
			地誌	(教育学類開設) ◎地誌概論, 地域と教育	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 (教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(教育学類開設) ◎社会学概論, 教育社会学 I, 教育社会学 II	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(教育学類開設) ◎哲学概論, 教育哲学, 道徳教育論, 比較道徳教育論, 教育思想論, 教育臨床学		
合計 (中学一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地	日本史	1 以上	日本史	(教育学類開設) ◎日本史概論, 日本教育史	
	外国史	1 以上	外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (教育学類開設) 外国教育史, アジア教育史	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
歴 史	人文地理学及び自然 地理学	1 以上	人文地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論, 比較文化地理学 I・II (地球科学類) ◎都市地理学, 交通地理学, 農村地理学 (3 科目セツト), (教育学類開設) 比較教育文化論	下線 2 つか ら 1 つを選 択必修
			自然地理学	(地球学類) ◎地球環境学 1	
	地誌	1 以上	地誌	(教育学類開設) ◎地誌概論, 地域と教育	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 教育学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論, 民法概論	
			国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法 I, ◎国際組織法 (教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
			政治学	(社会学類開設) ◎政治学概論, ◎政治思想	下線 2 科目 から 1 科目 選択必修
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(教育学類開設) ◎社会学概論, 教育社会学 I, 教育社会学 II	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(教育学類開設) ◎心理学概論, 哲学概論, 教育哲学, 道德教育論, 比較道德教育論, 教育思想論, 教育臨床学	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のは 1 科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 心理学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法学(国際法を含む。), 政治学(国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	
			国際法	(教育学類開設) 教育法制論, 教育行財政論	
民	「社会学, 経済学(国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(心理学類開設) ◎社会学概論, 社会・集団・家族心理学, 産業・組織心理学	
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	(心理学類開設) ◎心理学基礎論, 青年心理学, 教育・学校心理学, 発達心理学, 学習・言語心理学	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

人間学群 障害科学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
福          社	社会福祉学（職業指導を含む。）	1 以上	社会福祉学（職業指導を含む。）	(障害科学類開設) ◎社会福祉原論Ⅰ ◎社会福祉原論Ⅱ	
	高齢者福祉，児童福祉及び障害者福祉	1 以上	高齢者福祉	(障害科学類開設) ◎高齢者福祉論	
			児童福祉	(障害科学類開設) ◎児童福祉論	
			障害者福祉	(障害科学類開設) ◎障害者福祉論Ⅰ ◎障害者福祉論Ⅱ	
	社会福祉援助技術	1 以上	社会福祉援助技術	(障害科学類開設) ◎相談援助の基盤と専門職Ⅰ ◎相談援助の基盤と専門職Ⅱ ◎相談援助の理論と方法Ⅰ ◎相談援助の理論と方法Ⅱ 相談援助の理論と方法Ⅲ 相談援助の理論と方法Ⅳ 社会福祉調査論 地域福祉の理論と方法Ⅰ 地域福祉の理論と方法Ⅱ 権利擁護と成年後見制度 就労支援サービス論	
	介護理論及び介護技術	1 以上	介護理論	(障害科学類開設) ◎介護概論Ⅰ ◎介護概論Ⅱ	
			介護技術	(障害科学類開設) ◎介護技術	
	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	1 以上	社会福祉総合実習（社会福祉援助実習及び社会福祉施設等における介護実習を含む。）	(障害科学類開設) ◎ <u>介護実習（事前及び事後指導含む。）</u> ◎ <u>ソーシャルワーク実習</u> ◎ <u>ソーシャルワーク演習Ⅰ</u> ◎ <u>ソーシャルワーク演習Ⅱ</u> ◎ <u>ソーシャルワーク演習Ⅲ</u>	下線 2 科目から 1 科目選択必修及び二重下線 3 科目から 1 科目選択必修
	人体構造及び日常生活行動に関する理解	1 以上	人体構造及び日常生活行動に関する理解	(障害科学類開設) ◎医学概論Ⅰ	
	加齢及び障害に関する理解	1 以上	加齢及び障害に関する理解	(障害科学類開設) ◎高齢障害学Ⅰ ◎高齢障害学Ⅱ ◎障害原理論Ⅰ	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，○○及び〇〇とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「介護実習」は，「福祉」免許のみの取得を希望する者を対象とする。高齢者施設，障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。  
 5. 「ソーシャルワーク実習」は，社会福祉士国家試験受験資格取得を希望する者を対象とする。「福祉」免許を併せて取得する場合は，高齢者施設，障害者施設など介護業務を行う施設を実習先とすること。

生命環境学群 生物学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1 以上	化学	(生物学類開設) ◎化学序説 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	
	生物学	1 以上	生物学	(生物学類開設) ◎系統分類・進化学概論 ◎分子細胞生物学概論 ◎遺伝学概論 ◎生態学概論 ◎動物生理学概論 ◎植物生理学概論 動物系統分類学Ⅰ 植物系統分類学Ⅰ 動物生態学Ⅰ 植物生態学Ⅰ 進化遺伝学Ⅰ 生物物理学Ⅰ ゲノム生物学Ⅰ 分子進化学Ⅱ 数理生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 発生生物学Ⅰ 動物生理学Ⅰ 植物生理学Ⅰ 代謝生理化学Ⅰ 植物バイオテクノロジーⅠ 植物バイオテクノロジーⅡ 寄生生物学 放射線生物学	} 6科目セット で必修
	地学	1 以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1 以上	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	(生物学類開設) ◎基礎生物学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(3科目セット) 生物物理学実験 電子顕微鏡実験 水圏生物学実習 陸域生物学実習 動物分類学臨海実習 動物分類学野外実習 植物分類学臨海実習 菌類分類学野外実習 水圏生態学実習 陸域生態学実習 多様性生態学実習 動物発生学臨海実習 微生物学実験 動物系統分類学実験Ⅰ 動物系統分類学実験Ⅱ 植物系統分類学実験Ⅰ 植物系統分類学実験Ⅱ 高原生態学実習 進化遺伝学実験 モデル生物多様性実習 ゲノム生物学実験 理論生態学野外実習 細胞生物学実験 分子生物学実験 発生生物学実験Ⅰ	
	科				

				発生生物学実験 II 生殖生物学臨海実習 動物生理学実験 植物生理学実験 代謝生理化学実験 応用生物化学実験 I 応用生物化学実験 III 応用生物化学実験 II 植物バイオテクノロジー実験	
地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	（地球学類開設） ◎地球学実験		
合計 （中学一種）	20				

- （注） 1. 教科に関する専門的事項の欄中，（ ）内のものは必ず含めて修得しなければならない。
2. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。
3. 令和元年度以前入学者にあつては，区分「生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」の基礎生物学実験 I・II・III（3科目セット）を，「生物学類開設の基礎生物学実験 S・F（2科目セット）」を修得することによって替えられるものとする。
4. 平成26年度以前入学者にあつては，系統分類・進化学概論，分子細胞生物学概論に替えてそれぞれ分類学概論，細胞学概論を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		高等学校				
理	物理学	1 以上	物理学	(生物学類開設) ◎物理学序説		
	化学	1 以上	化学	(生物学類開設) ◎化学序説 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ		
	生物学	1 以上	生物学	(生物学類開設) ◎系統分類・進化学概論 ◎分子細胞生物学概論 ◎遺伝学概論 ◎生態学概論 ◎動物生理学概論 ◎植物生理学概論 動物系統分類学Ⅰ 植物系統分類学Ⅰ 動物生態学Ⅰ 植物生態学Ⅰ 進化遺伝学Ⅰ 生物物理学Ⅰ ゲノム生物学Ⅰ 分子進化学Ⅱ 数理生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅰ 細胞生物学Ⅱ 発生生物学Ⅰ 動物生理学Ⅰ 植物生理学Ⅰ 代謝生理化学Ⅰ 植物バイオテクノロジーⅠ 植物バイオテクノロジーⅡ 寄生生物学 放射線生物学	6科目セットで必修	
	地学	1 以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説		
	科	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	1 以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」	(物理学類開設) ◎物理学実験	
				化学実験（コンピュータ活用を含む。）」	(化学類開設) ◎化学実験	
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」				(生物学類開設) ◎基礎生物学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ(3科目セット) 生物物理学実験 電子顕微鏡実験 水圏生物学実習 陸域生物学実習 動物分類学臨海実習 動物分類学野外実習 植物分類学臨海実習 菌類分類学野外実習 水圏生態学実習 陸域生態学実習 多様性生態学実習 動物発生学臨海実習 微生物学実験 動物系統分類学実験Ⅰ 動物系統分類学実験Ⅱ 植物系統分類学実験Ⅰ 植物系統分類学実験Ⅱ 高原生態学実習 進化遺伝学実験 モデル生物多様性実習 ゲノム生物学実験 理論生態学野外実習 細胞生物学実験 分子生物学実験 発生生物学実験Ⅰ		

			発生生物学実験 II 生殖生物学臨海実習 動物生理学実験 植物生理学実験 代謝生理化学実験 応用生物化学実験 I 応用生物化学実験 III 応用生物化学実験 II 植物バイオテクノロジー実験	
		地学実験（コン ピュータ活用 を含む。）	（地球学類開設） ◎地球学実験	
合 計 （高校一種）	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。
2. 教科に関する専門的事項の欄中、（）内のものは必ず含めて修得しなければならない。
3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。  
ただし高校1種の場合は、物理学実験、化学実験、生物学実験、地学実験から選択した1以上の科目について、指定されたものを修得すること。
4. 令和元年度以前入学者にあつては、区分「生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」の基礎生物学実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（3科目セット）を、「生物学類開設の基礎生物学実験S・F（2科目セット）」を修得することによって替えられるものとする。
5. 平成26年度以前入学者にあつては、系統分類・進化学概論，分子細胞生物学概論に替えてそれぞれ分類学概論，細胞学概論を必修科目とすることができる。



生命環境学群 生物資源学類（中学校一種・理科）〔令和2（2020）年度入学対象〕

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理          科	物理学	1 以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
	化学	1 以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1 以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・工シス 開設のどれか) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) ◎資源生物学 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	2 科目か ら 1 科目 選択必修
	地学	1 以上	地学	(物理・化学・応理・工シス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
	物理学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	物理学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(生物資源学類開設) バイオプロセスシミュレーション, 生物材料学実験 (物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	化学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
	生物学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	生物学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(生物資源学類開設) ◎生物学実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
	地学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	地学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (中学一種)	2 0			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類（高等学校一種・理科）〔令和2（2020）年度入学者対象〕

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
	化学	1 以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1 以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・工シス 開設のどれか) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) ◎資源生物学 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	2科目から 1科目選択 必修
	地学	1 以上	地学	(物理・化学・応理・工シス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
	科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1 以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験 (生物資源学類開設) バイオプロセスシミュレーション, 生物材料科学実験
化学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎生物学実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)				(地球学類開設) ◎地学実験	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類（中学校一種・理科）〔平成31（2019）年度以前入学者対象〕

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理     科	物理学	1以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
	化学	1以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発現制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・工シス 開設のどれか) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) ◎資源生物学 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	2科目か ら1科目 選択必修
	地学	1以上	地学	(物理・化学・応理・工シス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
	物理学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	物理学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(生物資源学類開設) バイオプロセスシミュレーション, 生物材料学実験 (物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	化学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
	生物学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	生物学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(生物資源学類開設) ◎農林生物学基礎実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
	地学実験(コン ピュータ活用を含 む。)	1以上	地学実験(コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (中学一種)	20			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類（高等学校一種・理科）〔平成31（2019）年度以前入学者対象〕

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1以上	物理学	(生物資源学類開設) ◎物理学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 流れの科学Ⅰ・Ⅱ, 土の物理学Ⅰ・Ⅱ, 熱・物質移動の科学Ⅰ・Ⅱ, 高分子科学, 材料力学	
	化学	1以上	化学	(生物資源学類開設) ◎化学Ⅰ・Ⅱ(2科目セット), 生化学, 有機化学, 生物物理化学, 環境化学, 分析化学, 植物機能化学, 環境保全科学, 生物資源天然物化学, ゲノム情報生物学, 基礎生物化学工学, 分子発生制御学, 生体模倣化学, 複合材料工学	
	生物学	1以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・工シス 開設のどれか) ◎生物学序説 (生物資源学類開設) ◎資源生物学 資源植物保護学, 植物遺伝学, 資源動物学, 作物生産利用学, 園芸学, 生態学, 森林育成学, 森林植物学, 分子生物学	2科目から 1科目選択 必修
	地学	1以上	地学	(物理・化学・応理・工シス開設の どれか) ◎地学序説 (生物資源学類開設) 農村・農地工学, 土壌科学	
	科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験 (生物資源学類開設) バイオプロセスシミュレーション, 生物材料科学実験
化学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎化学実験, 分析化学基礎実験, バイオテクノロジー基礎実験, 応用生命化学コース専門実験	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物資源学類開設) ◎農林生物学基礎実験, 農林生物学実験, 植物寄生菌学実験	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)				(地球学類開設) ◎地学実験	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
技	木材加工（製図及び実習を含む。）	1以上	木材加工	(生物資源学類開設) 生物材料学, ◎木材加工学	
			木材加工（製図及び実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎木材加工学実習	
	金属加工（製図及び実習を含む。）	1以上	金属加工（製図及び実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎機械・食品工学実験	
			機械（実習を含む。）	(生物資源学類開設) 生物機械工学, 生物施設工学	
	電気（実習を含む。）	1以上	電気（実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎環境工学基礎実験	
			栽培（実習を含む。）	(生物資源学類開設) 環境有機農業論	
術	情報とコンピュータ（実習を含む。）	1以上	情報とコンピュータ	(生物資源学類開設) 実用解析 I	
			情報とコンピュータ（実習を含む。）	(生物資源学類開設) ◎生物資源科学情報処理実習	
	合計 (中学一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
農  業	農業の関係科目	1 以上	農業の関係 科目	(生物資源学類開設) ◎生物資源学にみる食品科学・技術の最前線 ◎生物資源の開発・生産と持続利用 ◎生物資源と環境, 生物資源としての遺伝子とゲノム(2科目セット) 農村社会・農業経営学基礎演習, 比較環境農学, 流域保全学, 作物生産システム学, 作物学, 果樹生産利用学, 蔬菜生産学, 動物生産学, 植物栄養学, 農業経営・生産経済学, 生物生産システム学実習, 農業経営・生産経済学演習, 微生物分子遺伝学, 動物機能生理学, 植物環境感応学, 細胞培養工学Ⅰ・Ⅱ, 測量学, 測量学実習, 工芸作物学, 園芸生産技術論 花卉学, 食と緑の環境工学インターンシップ, 土壌調査法実習, 森林生物学実習, 植物寄生菌学, 環境植物生態化学, 植物生理学, 応用微生物学, 植物病理学, 植物育種学, 応用動物昆虫学, 農耕文化史論, 農村社会学, 農村社会・農史学演習	3つから1 つを選択必 修
	職業指導	1 以上	職業指導	(教職科目その他開設) ◎職業指導	
	合 計 (高校一種)	2 0			

(注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 生物資源学類 (平成29年度以前入学者対象)

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論 (生物資源学類開設) 農耕文化史論	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化	
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(比較文化学類開設) ◎文化地理学概論 ◎社会地理学A~C(3科目セット), ◎自然環境論, (生物資源学類開設) 水資源環境工学, 森林環境社会論	下線3つ からいずれ か選択 必修
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 (比較文化学類開設) 地域研究論A~C	
「法学, 政治学」	1以上	「法学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 ◎民事法概論 (生物資源学類開設) ◎農林業政策論	1科目選 択必修	
「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(生物資源学類開設) ◎経済学I・II(2科目セット), ◎社会科学基礎I・II, 生物資源経済学, 国際資源開発経済学, 農村社会学, 森林資源経済学, 森林管理学, 資源・開発経済学基礎演習, 森林管理・経済学基礎演習, 食料経済分析論, 資源開発経済学, アグリビジネス論, 国際森林管理論, 生物資源経済学演習, 国際資源開発経済学演習, 農村社会・農史学演習, 森林資源経済学演習, 森林管理学演習	下線科目 (2科目セ ット)と二重 下線2科 目のどち らか選択 必修	
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論I・II から1科目, ◎比較宗教概論I・II から1科目, 文化創造論研究V, 表象芸術論研究I・II, 先端文化学研究III~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究I・II, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論I~VIII	下線及び 二重下線 から2科目 選択必修	
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」 内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 5. 平成28年度以前に欧米研究概論を修得済みの者にあつては, ヨーロッパ史概説 a・b、オリエント史概説 a・b (人文学類開設) から1科目を選択し、東洋の歴史と文化と併せて、区分「外国史」の必修を満たすこと。  
 6. 平成28年度以前入学者にあつては、地域研究論A~C(3科目セット)を必修科目とすることができる。

生命環境学群 生物資源学類 (平成 29 年度以前入学者対象)

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公     民	「法律学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論 ◎民法概論	1 科目選択必修
			国際法	(社会学類開設) 国際法 I, 国際組織法	
			政治学 (国際政治を含む。)	(生物資源学類開設) ◎農林業政策論	
	「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」	1 以上	社会学	(生物資源学類開設) ◎社会科学基礎 I・II, 農村社会学, 農村社会・農史学演習	
			経済学	(生物資源学類開設) 生物資源経済学, 森林資源経済学, 資源・開発経済学基礎演習, 森林管理・経済学基礎演習, 食料経済分析論, 資源開発経済学, アグリビジネス論, 生物資源経済学演習, 森林資源経済学演習	
			経済学 (国際経済を含む。)	(生物資源学類開設) ◎経済学 I・II (2科目), 国際資源開発経済学, 森林管理学, 国際森林管理論, 国際資源開発経済学演習, 森林管理学演習	
「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(比較文化学類開設) ◎現代思想概論 I・II から 1 科目, ◎比較宗教概論 I・II から 1 科目, 文化創造論研究 V, 表象芸術論研究 I・II, 先端文化学研究 III~VI, 記号文化論, 分析哲学, 言語哲学, 科学哲学, 現代倫理学, 哲学カフェ, 日本・東洋思想史研究 I・II, 比較思想研究, 比較思想史研究, 比較宗教論 I~VIII	下線及び二重下線から 2 科目選択必修	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のは 1 科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学 (国際法を含む。), 政治学 (国際政治を含む。)」は、区分「法律学及び国際法」、区分「政治学 (国際政治を含む。)」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学 (国際経済を含む。)」は、区分「社会学」、区分「経済学 (国際経済を含む。)」のいずれかを最低限修得すること。



生命環境学群 地球学類 (平成31(R1)年度以降入学用)

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 歴 史	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎ <u>日本史概説Ⅰ-a・Ⅰ-b(2科目セット)</u> ◎ <u>日本史概説Ⅱ-a・Ⅱ-b(2科目セット)</u> , 考古学概説-a・-b 民俗学概説	下線2つから1つを選択必修
	外国史	1以上	外国史	(人文学類開設) ◎ <u>中国史概説-a・-b</u> ◎ <u>ヨーロッパ史概説-a・-b</u> ◎ <u>古代西アジア史概説-a・-b</u> 先史学概説-a・-b 文化人類学概説	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	人文地理学及び 自然地理学	1以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学 都市地理学 農村地理学 地理情報システム (GIS) 地域計画論	
			自然地理学	(地球学類開設) ◎ <u>地形学</u> ◎ <u>水文学</u> 氷河凍土学 地生態学 海洋学 水環境リモートセンシング 水土環境動態論	下線2科目から1科目選択必修
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ◎ <u>地誌学</u> 経済地域論 観光地域論 世界地誌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類（平成30年度以前入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
地 理 歴 史	日本史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎ <u>日本史概説 I -a・I -b(2科目セット)</u> ◎ <u>日本史概説 II -a・II -b(2科目セット)</u> , 考古学概説-a・-b 民俗学概説	下線2つから1つを選択必修
	外国史	1以上	外国史	(人文学類開設) ◎ <u>中国史概説-a・-b</u> ◎ <u>ヨーロッパ史概説-a・-b</u> ◎ <u>古代西アジア史概説-a・-b</u> 先史学概説-a・-b 文化人類学概説	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	人文地理学及び 自然地理学	1以上	人文地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学 都市地理学 農村地理学 地理情報システム (GIS) 地域計画論	
			自然地理学	(地球学類開設) ◎ <u>地形学</u> ◎ <u>水文学</u> ◎ <u>環境動態解析学</u> 氷河凍土学 地生態学 海洋学 水環境リモートセンシング 水土環境動態論	下線3科目から1科目選択必修
	地誌	1以上	地誌	(地球学類開設) ◎地誌学 経済地域論 観光地域論 世界地誌 I・II・III・IV	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類（中学校一種・理科）（平成31(R1)年度以降入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理       科	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(地球学類開設) ◎生物圏地球科学 A, B, ◎地球変動・資源科学 A, B, ◎地球物質科学 A, B, ◎大気科学, 地史学・古生物学 A, B, 地層学 A, B, 地球変動科学 A, B, 岩石学 A, B, 地球資源科学 A, B, 鉱物学 A, B, 火山学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 地球学野外調査法, 地球情報学, 地球統計学	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	(地球学類開設) ◎地球学実験, 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ, 地質学野外実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ, 国際地質学総合野外実験 A・B, 大気科学実験 A・B, 大気科学野外実験, 水文科学実験 A・B, 水文科学野外実験, 地形学野外実験 A・B, 地形プロセス実験 A・B	
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類（中学校一種・理科）（平成30年度以前入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説 地球基礎数学・物理学	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説 地球基礎化学	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(地球学類開設) ◎生物圏地球科学 A, B, ◎地球変動・資源科学 A, B, ◎地球物質科学 A, B, ◎大気科学, 地史学・古生物学 A, B, 地層学 A, B, 地球変動科学 A, B, 岩石学 A, B, 地球資源科学 A, B, 鉱物学 A, B, 火山学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 地球学野外調査法, 地球情報学, 地球統計学	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	(地球学類開設) ◎地球学実験, 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ, 地質学野外実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ, 地層学実験, 地史学・古生物学実験, 岩石学実験, 鉱物学実験, 地球変動科学実験, 地球資源科学実験, 国際地質学総合野外実験 A・B, 大気科学実験 A・B, 大気科学野外実験, 水文科学実験 A・B, 水文科学野外実験, 地形学野外実験 A・B, 地形プロセス実験 A・B	
	合 計 (中学一種)	20			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類（高等学校一種・理科）（平成31(R1)年度以降入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(地球学類開設) ◎生物圏地球科学 A, B, ◎地球変動・資源科学 A, B, ◎地球物質科学 A, B, ◎大気科学, 地史学・古生物学 A, B, 地層学 A, B, 地球変動科学 A, B, 岩石学 A, B, 地球資源科学 A, B, 鉱物学 A, B, 火山学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 地球学野外調査法, 地球情報学, 地球統計学	
	科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験
化学実験(コンピュータ活用を含む。)				(化学類開設) ◎化学実験	
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)				(生物学類開設) ◎生物学実験	
地学実験(コンピュータ活用を含む。)				(地球学類開設) ◎地球学実験 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ 地質学野外実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 国際地質学総合野外実験A・B 大気科学実験A・B, 大気科学野外実験 水文科学実験A・B 水文科学野外実験 地形学野外実験A・B 地形プロセス実験A・B	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類（高等学校一種・理科）（平成30年度以前入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理	物理学	1以上	物理学	(地球学類開設) ◎物理学序説 地球基礎数学・物理学	
	化学	1以上	化学	(地球学類開設) ◎化学序説 地球基礎化学	
	生物学	1以上	生物学	(物理・化学・工学システム・生物学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(地球学類開設) ◎生物圏地球科学 A, B, ◎地球変動・資源科学 A, B, ◎地球物質科学 A, B, ◎大気科学, 地史学・古生物学 A, B, 地層学 A, B, 地球変動科学 A, B, 岩石学 A, B, 地球資源科学 A, B, 鉱物学 A, B, 火山学, 大気力学, 気象学, 気候システム学, 地圏水文学, 気圏水文学, 流域水文学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 地球学野外調査法, 地球情報学, 地球統計学	
科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎ <u>物理学実験</u>	下線4科目から1科目選択必修
			化学実験(コンピュータ活用を含む。)	(化学類開設) ◎ <u>化学実験</u>	
			生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎ <u>生物学実験</u>	
			地学実験(コンピュータ活用を含む。)	(地球学類開設) ◎ <u>地球学実験</u> 地質学基礎野外実験Ⅰ・Ⅱ 地質学野外実験Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ 地層学実験, 地史学・古生物学実験, 岩石学実験, 鉱物学実験, 地球変動科学実験, 地球資源科学実験 国際地質学総合野外実験A・B 大気科学実験A・B, 大気科学野外実験 水文科学実験A・B 水文科学野外実験 地形学野外実験A・B 地形プロセス実験A・B	
合 計 (高校一種)		20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

生命環境学群 地球学類 (平成29年度以前入学者対象)

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社    会	日本史及び外国史	1以上	日本史	(人文学類開設) ◎日本史概説Ⅰ-a・Ⅰ-b・Ⅱ-a・Ⅱ-b, 歴史地理学概説-a・-b, 考古学概説-a・-b, 民俗学概説	下線4科目からa・bと続く2科目を選択必修
			外国史	(人文学類開設) ◎中国史概説-a・-b ◎ヨーロッパ史概説-a・-b ◎古代西アジア史概説-a・-b 先史学概説-a・-b, 文化人類学概説	下線2科目から1科目選択必修及び二重下線4科目から1科目選択必修
	地理学(地誌を含む。)	1以上	地理学	(地球学類開設) ◎人文地理学, 都市地理学, 農村地理学, 地理情報システム(GIS), 水文科学, 地形学, 堆積プロセス学, 斜面プロセス学, 氷河凍土学, 地生態学, 地域計画論, 海洋学	
			地誌	(地球学類開設) ◎地誌学, 経済地域論, 観光地域論, 世界地誌Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	「法律学, 政治学」	1以上	「法律学, 政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論, ◎民事法概論, ◎政治学概論, 民法総則, 契約, 事務管理・不当利得・不法行為, 債権総論, 物権, 担保物権, 親族・相続, 刑法総論, 刑法各論, 憲法Ⅰ・Ⅱ, 商法Ⅰ, 会社法Ⅰ・Ⅱ, 国際法Ⅰ, 国際組織法, 国際安全保障論, 比較政治学, 国際政治学	下線は3科目から1科目選択必修
	「社会学, 経済学」	1以上	「社会学, 経済学」	(社会学類開設) ◎社会学基礎論, ◎現代社会論,	下線は2科目から1科目選択必修
「哲学, 倫理学, 宗教学」	1以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(人文学類開設) ◎哲学通論-a・-b, ◎倫理学通論-a・-b, ◎宗教学通論-a・-b, 東洋思想-a・-b	下線は6科目から1科目選択必修	
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 数学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数   学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(数学類開設) ◎線形代数Ⅰ, 線形代数Ⅱ・Ⅲ, 線形代数統論, 代数入門, 代数学ⅠA・ⅠB, 代数学Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(数学類開設) ◎トポロジー入門, トポロジーA・B・C, 多様体入門, 微分幾何学	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(理工学群開設) 数学リテラシー1・2 (数学類開設) ◎微積分Ⅰ, 微積分Ⅱ・Ⅲ, ベクトル解析と幾何, 微分方程式入門, 関数論, 偏微分方程式, ルベーグ積分, 関数解析入門, 複素解析, 関数解析	
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(数学類開設) ◎数理統計学Ⅰ, 数理統計学Ⅱ, 確率論Ⅰ・Ⅱ	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(数学類開設) ◎計算機数学Ⅰ, 数理論理学Ⅰ	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



理工学群 数学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(理工学群開設) ◎知的財産と技術移転, 科学技術倫理 (工学システム学類開設) 工学システム概論, 工学システム原論	
	コンピュータ及び情 報処理(実習を含 む。)	1 以上	コンピュータ 及び情報処理	(数学類開設) 計算機数学Ⅱ	
			コンピュータ 及び情報処理 (実習を含 む。)	(数学類開設) ◎計算機演習	
	情報システム(実習 を含む。)	1 以上	情報システム	(数学類開設) 数理論理学Ⅱ	
			情報システム (実習を含 む。)	(情報科学類開設) ◎データベース概論Ⅰ	
	情報通信ネットワ ーク(実習を含む。)	1 以上	情報通信ネッ トワーク	(数学類開設) 統計学, 曲面論	
			情報通信ネッ トワーク(実習 を含む。)	(数学類開設) ◎曲面論演習, 統計学演習, 線形代数演習 S 線形代数演習 F	
	マルチメディア表現 及び技術(実習を含 む。)	1 以上	マルチメディ ア表現及び技 術	(数学類開設) 集合入門	
			マルチメディ ア表現及び技 術(実習を含 む。)	(数学類開設) ◎集合入門演習	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (国際総合学類開設) 産業・組織心理学	
合 計 (高校一種)	2 0				

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。

2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。

理工学群 物理学類（平成31(R1)年度以降入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(理工学群開設) ◎ <u>数学リテラシー1・2</u> (物理学類開設) ◎ <u>計算物理学3</u> (数学類開設) 代数入門 線形代数統論	下線3科目 から1科目 選択必修
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(数学類開設) ◎ <u>トポロジー入門</u> トポロジーA・B・C, 多様体入門 微分幾何学 (物理学類開設) ◎ <u>一般相対性理論</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
学	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(物理学類開設) ◎物理数学Ⅰ 物理数学Ⅱ	
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(物理学類開設) ◎統計力学1 ◎統計力学2	1科目選択 必修
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(物理学類開設) ◎計算物理学Ⅰ ◎計算物理学Ⅱ	1科目選択 必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 物理学類（平成30年度以前入学者用）

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
数   学	代数学	1以上	1以上	代数学  (理工学群開設) ◎ <u>数学リテラシー1・2</u> (物理学類開設) ◎ <u>計算物理学3</u> ◎ <u>連続体力学</u> ◎ <u>流体力学</u> (数学類開設) 代数入門 線形代数統論	下線5科目 から1科目 選択必修	
	幾何学	1以上	1以上	(数学類開設) ◎ <u>トポロジー入門</u> <u>トポロジーA・B・C</u> , 多様体入門 微分幾何学 (物理学類開設) ◎ <u>一般相対性理論</u>	下線2科目 から1科目 選択必修	
	解析学	1以上	1以上	(物理学類開設) ◎物理数学Ⅰ ◎物理数学Ⅱ	1科目選択 必修	
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	(物理学類開設) ◎統計力学1 ◎統計力学2	1科目選択 必修	
	コンピュータ	1以上	1以上	(物理学類開設) ◎計算物理学Ⅰ ◎計算物理学Ⅱ	1科目選択 必修	
	合 計 (中学一種, 高校一 種)	20	20			

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 物理学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 中学校			
理          科	物理学	1 以上	物理学	(物理学類開設) ◎物理学入門 ◎解析力学 熱物理学 専門電磁気学 II 電磁気学 5 量子力学序論 量子力学 I・3・4 特殊相対性理論 プラズマ物理学概論 プラズマ物理学 素粒子物理学概論 原子核物理学概論 物性物理学概論 実験物理学 I・II 宇宙物理学概論 素粒子物理学 原子核物理学 物性物理学 宇宙物理学	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1 以上	化学	(化学類開設) ◎化学 1 化学 2 化学 3	
	生物学	1 以上	生物学	(物理学類開設) ◎生物物理学 ◎生物学序説	1科目選択 必修
	地学	1 以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験 (コンピュータ活 用を含む。)	1 以上	物理学実験 (コンピュータ 活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験 I 物理学実験 3	
	化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	1 以上	化学実験 (コンピュータ 活用を含む。)	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	1 以上	生物学実験 (コ ンピュータ活用 を含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験 生物物理学実験	
	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	1 以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
	合 計 (中学一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 物理学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
理    科	物理学	1 以上	物理学	(物理学類開設) ◎物理学入門 ◎解析力学 熱物理学 専門電磁気学 II 電磁気学 5 量子力学序論 量子力学 I・3・4 特殊相対性理論 プラズマ物理学概論 プラズマ物理学 素粒子物理学概論 原子核物理学概論 物性物理学概論 実験物理学 I・II 宇宙物理学概論 素粒子物理学 原子核物理学 物性物理学 宇宙物理学	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1 以上	化学	(化学類開設) ◎化学 1 化学 2 化学 3	
	生物学	1 以上	生物学	(物理学類開設) ◎生物物理学 ◎生物学序説	1科目選択 必修
	地学	1 以上	地学	(物理学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験（コンピュータ活用を含む。）、化学実験（コンピュータ活用を含む。）、生物学実験（コンピュータ活用を含む。）、地学実験（コンピュータ活用を含む。）」	1 以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）」	(物理学類開設) ◎物理学実験 I 物理学実験 3	
化学実験（コンピュータ活用を含む。）」			(化学類開設) ◎化学実験		
生物学実験（コンピュータ活用を含む。）」			(生物学類開設) ◎生物学実験 生物物理学実験		
地学実験（コンピュータ活用を含む。）」			(地球学類開設) ◎地学実験		
合 計 (高校一種)	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 化学類（中学校一種・理科）（平成31(R1)年度以降入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理    科	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎ <u>電磁気学1・2・3</u>	下線3科目から1科目選択必修及び二重下線3科目から1科目選択必修
	化学	1以上	化学	(化学類開設) ◎無機化学Ⅰ ◎分析化学 ◎物理化学Ⅰ・Ⅱ ◎有機化学Ⅰ・Ⅱ ◎生物化学 無機化学Ⅱ・Ⅲ 物理化学Ⅲ・Ⅳ 有機化学Ⅲ・Ⅳ 生物化学Ⅱ 放射化学 計算化学, 基礎化学外書講読 専門化学外書講読	
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	物理学実験（コンピュータ活用を含む。）	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	化学実験（コンピュータ活用を含む。）	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	生物学実験（コンピュータ活用を含む。）	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	1以上	地学実験（コンピュータ活用を含む。）	(地球学類開設) ◎地学実験	

理工学群 化学類（中学校一種・理科）（平成30年度以前入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理    科	物理学	1 以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎ <u>電磁気学1・2・3</u>	下線3科目 から1科目 選択必修 及び二重 下線3科目 から1科目 選択必修
	化学	1 以上	化学	(化学類開設) ◎無機化学 I ◎分析化学, 分析化学 A・B ◎物理化学 I・II, 1A・1B・2A・2B ◎有機化学 I・II ◎生物化学 無機化学 II・III 物理化学 III・IV, 3A・3B・4 有機化学 III・IV 生物化学 II 放射化学 計算化学, 基礎化学外書講読 専門化学外書講読	
	生物学	1 以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1 以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	物理学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
	化学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	化学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(化学類開設) ◎化学実験	
	生物学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	生物学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験 (コン ピュータ活用を含 む。)	1 以上	地学実験 (コン ピュータ活用を 含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験	
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 化学類（高等学校一種・理科）（平成31(R1)年度以降入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理    科	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎電磁気学1・2・3	下線3科目から1科目選択 必修及び下線3科目から1科目選択必修
	化学	1以上	化学	(化学類開設) ◎無機化学Ⅰ ◎分析化学 ◎物理化学Ⅰ・Ⅱ ◎有機化学Ⅰ・Ⅱ ◎生物化学 無機化学Ⅱ・Ⅲ 物理化学Ⅲ・Ⅳ 有機化学Ⅲ・Ⅳ 生物化学Ⅱ 放射化学, 計算化学, 基礎化学外書講読 専門化学外書講読	
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)			(化学類開設) ◎化学実験		
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)			(生物学類開設) ◎生物学実験		
地学実験(コンピュータ活用を含む。)			(地球学類開設) ◎地学実験		
合計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



理工学群 化学類（高等学校一種・理科）（平成30年度以前入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理    科	物理学	1以上	物理学	(物理学類開設) ◎力学1・2・3 ◎電磁気学1・2・3	下線3科目から1科目選択 必修及び 二重下線 3科目から1科目 選択必修
	化学	1以上	化学	(化学類開設) ◎無機化学Ⅰ ◎分析化学, 分析化学A・B ◎物理化学Ⅰ・Ⅱ, 1A・1B・2A・2B ◎有機化学Ⅰ・Ⅱ ◎生物化学 無機化学Ⅱ・Ⅲ 物理化学Ⅲ・Ⅳ, 3A・3B・4 有機化学Ⅲ・Ⅳ 生物化学Ⅱ 放射化学, 計算化学, 基礎化学外書講読 専門化学外書講読	
	生物学	1以上	生物学	(化学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1以上	地学	(化学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(物理学類開設) ◎物理学実験	
化学実験(コンピュータ活用を含む。)			(化学類開設) ◎化学実験		
生物学実験(コンピュータ活用を含む。)			(生物学類開設) ◎生物学実験		
地学実験(コンピュータ活用を含む。)			(地球学類開設) ◎地学実験		
合計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(応用理工学類開設) ◎線形代数 A・B・II, 応用数学 I・II	下線 3 科目から 1 科目選択必修
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(応用理工学類開設) ◎解析学 B, 解析学 C	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(応用理工学類開設) ◎解析学 A, 解析力学 B, 解析力学 A	
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(応用理工学類開設) ◎確率論 ◎統計学 統計力学 I・II	
学	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(応用理工学類開設) ◎応用理工学情報処理, 計算機実習, デジタル電子回路, 集積回路工学, 電気回路, アナログ電子回路 (工学システム学類開設) プログラミング序論 C, データ構造とアルゴリズム	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは 1 科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 中学校			
理     科	物理学	1 以上	物理学	(応用理工学類開設) ◎力学A, 電磁気学A・B, 量子力学I・II・III, 熱力学, 固体物理学A・B, 物理計測, 光学, レーザー光学, プラズマ工学, 回折結晶学, 光物性工学	
	化学	1 以上	化学	(応用理工学類開設) ◎ <u>化学A・B・III A・III B,</u> 有機化学A・B, 高分子化学, 電気化学, 有機電子論	下線4科目 から1科目 選択必修
	生物学	1 以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・工シス 開設のいずれか) ◎生物学序説 (応用理工学類開設) 分子工学概論, 生命科学A・B	
	地学	1 以上	地学	(応用理工学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験(コ ンピュータ活用 を含む。)	1 以上	物理学実験 (コンピュー タ活用を含 む。)	(応用理工学類開設) ◎応用理工物理学実験	
	化学実験(コ ンピュータ活用 を含む。)	1 以上	化学実験(コ ンピュータ活 用を含む。)	(応用理工学類開設) ◎応用理工化学実験	
	生物学実験(コ ンピュータ活用 を含む。)	1 以上	生物学実験 (コンピュー タ活用を含 む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験(コ ンピュータ活用 を含む。)	1 以上	地学実験(コ ンピュータ活 用を含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験, 地質学基礎野外実験I・II	
合 計 (中学一種)	20				

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 高等学校			
理    科	物理学	1 以上	物理学	(応用理工学類開設) ◎力学A, 電磁気学A・B, 量子力学I・II・III, 熱力学, 固体物理学A・B, 物理計測, 光学, レーザー光学, プラズマ工学, 回折結晶学, 光物性工学	
	化学	1 以上	化学	(応用理工学類開設) ◎ <u>化学A・B・III A・III B,</u> 有機化学A・B, 高分子化学, 電気化学, 有機電子論	下線4科目 から1科目 選択必修
	生物学	1 以上	生物学	(生物・物理・化学・応理・工シス 開設のいずれか) ◎生物学序説 (応用理工学類開設) 分子工学概論, 生命科学A・B	
	地学	1 以上	地学	(応用理工学類開設) ◎地学序説	
	「物理学実験 (コンピュータ 活用を含む。)、 化学実験(コン ピュータ活用を 含む。)、生物学 実験(コン ピュータ活用を 含む。)、地学実 験(コンピ ュータ活用を 含む。)」	1 以上	物理学実験 (コン ピュータ活 用を含む。)  化学実験(コ ンピュータ 活用を含 む。)	(応用理工学類開設) ◎ <u>応用理工物理学実験</u>  (応用理工学類開設) ◎ <u>応用理工化学実験</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 応用理工学類（平成30年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
工 業	工業の関係科目	1 以上	工業の関係科目	(応用理工学類開設) 応用理工学実験 A・B, 基礎実験学, 光エレクトロニクス, ◎計測・制御工学, 半導体電子工学, 結晶欠陥, 磁性体工学, 誘電体工学, 固体物理学特論, 凝縮系物理, 無機材料工学, 先端科学・工学概論, 情報通信工学概論, 金属物性工学, 表面・界面工学, 触媒・工業化学, 生物工学, 機器分光分析, 計測実験学, グリーンエレクトロニクス, 材料物性工学概論, 基礎有機化学, 応用物理専攻実験 A・B, 電子・量子工学専攻実験 A・B, 物性工学専攻実験 A・B, 物質・分子工学専攻実験 A・B	
	職業指導	1 以上	職業指導	(教職科目その他開設) ◎職業指導	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(工学システム学類開設) ◎線形代数 A, 応用数学 A・B	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(工学システム学類開設) ◎線形代数総論 B	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(工学システム学類開設) ◎解析学総論, 常微分方程式, 複素解析	
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計 学」	(工学システム学類開設) ◎確率統計, 信頼性工学	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(工学システム学類開設) ◎プログラミング序論 C, データ構造とアルゴリズム, ヒューマンインタフェース, 知的情報処理, デジタル信号処理, 応用プログラミング	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 3. 令和元年度以前に線形代数 A (工学システム学類開設) を修得済みの者にあつては, 当該科目を区分「代数学」の必修科目とすることができる。

理工学群 工学システム学類（中学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
理     科	物理学	1 以上	物理学	(工学システム学類開設) ◎力学総論, ◎電磁気学総論, 電気回路, ◎熱力学基礎, ◎応用熱力学, 材料力学基礎, 応用材料力学, 流体力学基礎, 応用流体力学	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1 以上	化学	(理工学群開設) ◎化学1・2・3(3科目セット) (工学システム学類開設) 燃焼工学, 物理化学概論	
	生物学	1 以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1 以上	地学	(工学システム学類開設) ◎地学序説	
	物理学実験（コン ピュータ活用を含 む。）	1 以上	物理学実験（コン ピュータ活用 を含む。）	(工学システム学類開設) ◎ <u>工学システム基礎実験A・B</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学実験（コン ピュータ活用を含 む。）	1 以上	化学実験（コン ピュータ活用を 含む。）	(応用理工学類開設) ◎応用理工化学実験	
	生物学実験（コン ピュータ活用を含 む。）	1 以上	生物学実験（コン ピュータ活用 を含む。）	(生物学類開設) ◎生物学実験	
	地学実験（コン ピュータ活用を含 む。）	1 以上	地学実験（コン ピュータ活用を 含む。）	(地球学類開設) ◎地学実験, 地質学基礎野外実験I・II	
合 計 (中学一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類（高等学校一種・理科）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位 数			
		高等学校			
理	物理学	1 以上	物理学	(工学システム学類開設) ◎力学総論, ◎電磁気学総論, 電気回路, ◎熱力学基礎, ◎応用熱力学, 材料力学基礎, 応用材料力学, 流体力学基礎, 応用流体力学	下線2科目 から1科目 選択必修
	化学	1 以上	化学	(理工学群開設) ◎化学1・2・3(3科目セット) (工学システム学類開設) 燃焼工学, 物理化学概論	
	生物学	1 以上	生物学	(工学システム学類開設) ◎生物学序説	
	地学	1 以上	地学	(工学システム学類開設) ◎地学序説	
科	「物理学実験(コンピュータ活用を含む。)、化学実験(コンピュータ活用を含む。)、生物学実験(コンピュータ活用を含む。)、地学実験(コンピュータ活用を含む。)」	1 以上	物理学実験(コンピュータ活用を含む。)	(工学システム学類開設) ◎ <u>工学システム基礎実験A・B</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
			化学実験(コンピュータ活用を含む。)	(応用理工学類開設) ◎応用理工化学実験	
			生物学実験(コンピュータ活用を含む。)	(生物学類開設) ◎生物学実験	
			地学実験(コンピュータ活用を含む。)	(地球学類開設) ◎地学実験, 地質学基礎野外実験I・II	
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。



理工学群 工学システム学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位 数			
		高等学校			
情            報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) 知的財産と技術移転, 科学技術倫理 (工学システム学類開設) ◎工学者のための倫理, 研究・開発原論	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1 以上	コンピュータ及び情報処理	(工学システム学類開設) 計測工学, ◎コンピュータとネットワーク, ◎フィードバック制御, 電子回路, 論理回路, 離散数学, 人工知能, 環境リモートセンシング	下線2科目から1科目選択必修
			コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(工学システム学類開設) プログラミング序論A・B・D	
	情報システム(実習を含む。)	1 以上	情報システム	(工学システム学類開設) ◎情報理論	
			情報システム(実習を含む。)	(情報科学類開設) データベース概論I	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1 以上	情報通信ネットワーク	(工学システム学類開設) 通信工学, ◎情報通信システム論I・II	下線2科目から1科目選択必修
			情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(工学システム学類開設) 数値解析, 数値計算法	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術	(工学システム学類開設) ◎画像処理, パターン認識	
			マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(工学システム学類開設) 知的・機能工学システム実験	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (工学システム学類開設) 産業技術論I・II	
	合 計 (高校一種)	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 工学システム学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
工 業	工業の関係科目	1 以上	工業の関係 科目	(工学システム学類開設) ◎工学システム原論 ◎ <u>環境開発工学専門実験</u> 、 ◎ <u>環境開発工学応用実験</u> 、 ◎ <u>エネルギー工学専門実験</u> 、 ◎ <u>エネルギー工学応用実験</u> 、 ◎ <u>建築設計製図Ⅰ～Ⅲ</u> 、 機械設計、 構造力学Ⅰ、 材料学基礎、 ◎システム最適化、 複合材料学、 電磁力工学、 電力工学、 線形システム制御、 土質力学、 コンクリート工学、 システムダイナミックス、 ロボット工学、 振動工学Ⅰ 地圏気圏の環境論、 パワーエレクトロニクス、 伝熱工学、 エネルギー機器学、 エネルギー学入門、 ◎メカトロニクス機能要素概論、 メカトロニクス機構解析	下線2科目 から1科目 選択必修 及び二重 下線3科目 から1科目 選択必修
	職業指導	1 以上	職業指導	(教職科目その他開設) ◎職業指導	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類（令和2年度以降入学者対象）

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 （開設学群・学類）	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	（理工学群開設） ◎線形代数1 線形代数2 線形代数3	
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	（社会工学類開設） ◎数理最適化法 都市解析 データ解析	
	解析学	1以上	1以上	解析学	（理工学群開設） ◎微積分1 微積分2 微積分3	
	「確率論，統計学」	1以上	1以上	「確率論，統計学」	（社会工学類開設） ◎統計学 応用確率論	
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	（社会工学類開設） ◎計算機科学 情報ネットワーク シミュレーション	
合 計 （中学一種，高校一種）		20	20			

- （注） 1. 教科に関する専門的事項の欄中，「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類（平成29年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1以上	日本史	(日本語・日本文化学類開設) ◎日本の歴史概論	
			外国史	(比較文化学類開設) ◎欧米研究概論 (日本語・日本文化学類開設) ◎東洋の歴史と文化 (国際総合学類開設) 国際関係史序説 (社会工学類開設) 都市計画の歴史	
	地理学（地誌を含む。）	1以上	地理学（地誌を含む。）	(社会工学類開設) ◎都市緑地計画	
	「法学，政治学」	1以上	「法学，政治学」	(社会学類開設) ◎法学概論 (国際総合学類開設) 比較政治学，国際政治学， 国際機構論，国際相互依存論， 国際政治経済学，国際法概論， 国際法Ⅰ，国際組織法， 日本政治，現代日本外交史	
会	「社会学，経済学」	1以上	「社会学，経済学」	(社会工学類開設) ◎ミクロ経済学， ◎マクロ経済学， 公共システム演習， 計量分析システム演習， 戦略行動システム演習， 計量経済学，金融論，財政学，日本経済論， 公共経済学，経済動学， 国際金融論，国際開発論， マクロ計量分析，金融リスク管理論， ゲーム論，進化ゲーム論，意思決定論， 経済行動論，計量時系列分析， 都市経済学， 政策・公共事業評価， 地域経営・行政論	下線は 2科目 から1 科目選 択必修
	「哲学，倫理学，宗教学」	1以上	「哲学，倫理学，宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論AⅠ・AⅡ、又は CⅠ・CⅡ、又は DⅠ・DⅡ 〔哲学通論AⅠ，CⅠ，DⅠは同一科目 哲学通論AⅡ，CⅡ，DⅡは同一科目〕	
	合 計 (中学一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中，○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する科目の欄中，「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類（平成29年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
公	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	法律学	(社会学類開設) ◎法学概論	
			国際法	(国際総合学類開設) ◎国際法概論, 国際法 I ◎国際組織法	下線は 2科目 から1 科目選 択必修
			政治学	(国際総合学類開設) 比較政治学, 日本政治, 現代日本外交史	1科目 選択必 修
			国際政治	(国際総合学類開設) 国際政治学, 国際機構論, 国際相互依存論, 国際政治経済学	
民	「社会学, 経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	経済学	(社会工学類開設) ◎ミクロ経済学, ◎マクロ経済学, 文化行動論, 公共システム演習, 計量分析システム演習, 戦略行動システム演習, 計量経済学, 金融論, 財政学, 日本経済論, 公共経済学, 経済動学, マクロ計量分析, 金融リスク管理論, ゲーム論, 進化ゲーム論, 意思決定論, 経済行動論, 計量時系列分析, 地域経営・行政論, 都市経済学, 政策・公共事業評価	下線は 2科目 から1 科目選 択必修
			国際経済	(社会工学類開設) ◎国際金融論, ◎国際開発論	下線は 2科目 から1 科目選 択必修
	「哲学, 倫理学, 宗教学, 心理学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(全学群対象) ◎哲学通論A I・A II、又は C I・C II、又は D I・D II 〔 哲学通論A I, C I, D Iは同一科目 哲学通論A II, C II, D IIは同一科目 〕	
	合 計 (高校一種)	20			

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。  
 4. 「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」は、区分「法律学及び国際法」、区分「政治学及び国際政治」のいずれかを最低限修得すること。  
 5. 「社会学, 経済学（国際経済含む。）」は、区分「経済学及び国際経済」を最低限修得すること。

理工学群 社会工学類（平成29年度以前入学者対象）

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(社会工学類開設) ◎ <u>数学リテラシー1と線形代数1,</u> ◎ <u>線形代数2と線形代数3,</u> 数理最適化法, 数理工学モデル化実習	下線2つから1つを選択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報科学類開設) ◎コンピュータグラフィックス基礎	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(社会工学類開設) ◎ <u>数学リテラシー2と微積分1,</u> ◎ <u>微積分2と微積分3,</u> 都市解析	下線2つから1つを選択必修
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(社会工学類開設) ◎統計学, 数理統計学, 応用確率論, 生産・品質管理	
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(社会工学類開設) ◎ <u>データ解析,</u> ◎ <u>ファイナンス,</u>	下線2科目から1科目選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

(注) 1. 教科に関する科目の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。

2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

理工学群 社会工学類（平成29年度以前入学者対象）

免許 教科 科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する科目	最低修得単位数			
		高等学校			
情          報	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び情報倫理	(理工学群開設) 知的財産と技術移転 ◎科学技術倫理	
	コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	1以上	コンピュータ及び情報処理	(情報科学類開設) 計算機アーキテクチャ	
			コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	(社会工学類開設) ◎計算機科学 都市環境評価論, 地域科学演習 プログラミング実習	
	情報システム（実習を含む。）	1以上	情報システム	(社会工学類開設) マーケティング	
			情報システム（実習を含む。）	(社会工学類開設) ◎経営情報システム, 社会調査実習 (情報科学類開設) データベース概論 I	
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1以上	情報通信ネットワーク	(社会工学類開設) ◎応用確率過程	
			情報通信ネットワーク（実習を含む。）	(社会工学類開設) ◎情報ネットワーク, 情報技術実験	
	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	1以上	マルチメディア表現及び技術	(社会工学類開設) ◎空間デザイン論	
			マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	(社会工学類開設) シミュレーション, 都市計画情報実習	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (国際総合学類開設) 産業・組織心理学 (社会工学類開設) マネジメント演習, 経営工学概論	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報科学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(情報科学類開設) ◎線形代数B, コンピュータ数学, 離散構造	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報科学類開設) ◎コンピュータグラフィックス基礎, インタラクティブCG	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(情報科学類開設) ◎微分積分学, 微分積分C, 数値計算法, 数理メディア情報学, 複素関数論	
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(情報科学類開設) ◎確率・統計, 情報理論	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(情報科学類開設) 論理と形式化, システム制御概論, ◎数理アルゴリズムとシミュレーション, ◎オートマトンと形式言語, 信号処理概論, 人工知能, プログラム理論	下線2科目 から1科目 選択必修
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



情報学群 情報科学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
情       報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情 報処理(実習を含 む。)	1 以上	コンピュータ 及び情報処理	(情報科学類開設) 論理システム, 計算機アーキテクチャ, VLSI 工学, オペレーティングシステム, 電子回路	
			コンピュータ 及び情報処理 (実習を含 む。)	(情報科学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, データ構造とアルゴリズム実験, 論理回路, 論理回路実験, 論理システム実験, プログラム言語処理	
	情報システム(実習 を含む。)	1 以上	情報システム	(情報科学類開設) ソフトウェア工学, データベース概論Ⅱ	
			情報システム(実習 を含む。)	(情報科学類開設) ◎データベース概論Ⅰ	
	情報通信ネットワ ーク(実習を含む。)	1 以上	情報通信ネッ トワーク	(情報科学類開設) 分散システム, 情報セキュリティ	
			情報通信ネッ トワーク(実習 を含む。)	(情報科学類開設) ◎コンピュータネットワーク, ◎システムプログラム	1科目選 択必修
	マルチメディア表現 及び技術(実習を含 む。)	1 以上	マルチメディ ア表現及び技 術	(情報科学類開設) 自然言語処理, ◎ヒューマンインタフェース, 視覚情報科学 音声聴覚情報処理	
			マルチメディア表現 及び技術(実習 を含む。)	(情報科学類開設) 画像メディア工学	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (情報科学類開設) インターンシップⅠ・Ⅱ	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 [令和元(2019)年度以降入学者対象]

免許 教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1以上	1以上	代数学	(情報学群開設) ◎線形代数A, ◎情報数学A (情報メディア創成学類開設) ◎線形代数B, ◎情報数学IV, 情報数学B	下線4科目 から1科目 選択必修
	幾何学	1以上	1以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG基礎, インタラクティブCG 情報数学C	
	解析学	1以上	1以上	解析学	(情報学群開設) ◎微分積分A, (情報メディア創成学類開設) ◎微分積分B, 信号とシステム	下線2科目 から1科目 選択必修
	「確率論, 統計学」	1以上	1以上	「確率論, 統計学」	(情報メディア創成学類開設) ◎確率と統計, ◎統計分析法, 情報理論	下線2科目 から1科目 選択必修
	コンピュータ	1以上	1以上	コンピュータ	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミング, 情報メディア実験A, B, システム数理I, II, III, 知識・自然言語処理, パターン認識, 情報可視化	
合 計 (中学一種, 高校一種)		20	20			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 [平成30(2018)年度以前入学者対象]

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数    学	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(情報メディア創成学類開設) ◎ <u>線形代数 I・II</u> , ◎ <u>情報数学 I・IV</u> , 情報数学 B	下線4科目 から1科目 選択必修
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG 基礎, インタラクティブ CG, 情報数学 C	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(情報メディア創成学類開設) ◎ <u>解析 I・II</u> , 信号とシステム	下線2科目 から1科目 選択必修
	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(情報メディア創成学類開設) ◎ <u>確率と統計</u> , ◎ <u>統計分析法</u> , 情報理論	下線2科目 から1科目 選択必修
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(情報メディア創成学類開設) ◎ <u>プログラミング IA, IB</u> , ◎ <u>プログラミング実習 IA, IB</u> , 情報メディア実験 A, B, システム数理 I, II, III, 知識・自然言語処理, パターン認識, 情報可視化	下線4科目 から1科目 選択必修
合 計 (中学一種, 高校一 種)		2 0	2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, 「 」のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
2. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 [令和元(2019)年度以降入学者対象]

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数 高等学校			
情          報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎ <u>情報社会と法制度</u> ， 知的財産概論 (情報メディア創成学類開設) ◎ <u>情報メディア概論</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
	コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	1 以上	コンピュータ及び情報処理	(情報メディア創成学類開設) コンピュータシステムと OS， プログラム言語論， データ構造とアルゴリズム	
			コンピュータ及び情報処理（実習を含む。）	(情報学群開設) ◎プログラミング入門 (情報メディア創成学類開設) データ構造とアルゴリズム実習	
	情報システム（実習を含む。）	1 以上	情報システム	(情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論， データベースシステム II	
			情報システム（実習を含む。）	(情報メディア創成学類開設) ◎データ工学概論， データベースシステム I	
	情報通信ネットワーク（実習を含む。）	1 以上	情報通信ネットワーク	(情報メディア創成学類開設) ネットワークメディア概論， 通信ネットワーク， 情報通信プラットフォーム論	
			情報通信ネットワーク（実習を含む。）	(情報メディア創成学類開設) ◎Webプログラミング	
	マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	1 以上	マルチメディア表現及び技術	(情報メディア創成学類開設) 実世界指向システム， 先端技術とメディア表現， 視覚情報科学， 人間計測の方法	
			マルチメディア表現及び技術（実習を含む。）	(情報メディア創成学類開設) マークアップ言語， 画像・映像情報処理， 音楽・音響情報処理， ◎インタラクティブデザイン	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業	
合 計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 情報メディア創成学類 [平成30(2018)年度以前入学者対象]

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
情       報	情報社会及び情報倫理	1以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎ <u>情報社会と法制度</u> ， 知的財産概論 (情報メディア創成学類開設) ◎ <u>情報メディア概論</u>	下線2科目 から1科目 選択必修
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1以上	コンピュータ及び情報処理	(情報メディア創成学類開設) プログラミングⅡ， コンピュータシステムとOS， プログラム言語論， データ構造とアルゴリズム	
			コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎プログラミング実習Ⅱ， データ構造とアルゴリズム実習	
	情報システム(実習を含む。)	1以上	情報システム	(情報メディア創成学類開設) コンテンツ流通基盤概論， データベースシステムⅡ	
			情報システム(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎データ工学概論， データベースシステムⅠ	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1以上	情報通信ネットワーク	(情報メディア創成学類開設) ネットワークメディア概論， 通信ネットワーク， 情報通信プラットフォーム論	
			情報通信ネットワーク(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) ◎Webプログラミング	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1以上	マルチメディア表現及び技術	(情報メディア創成学類開設) 実世界指向システム， 先端技術とメディア表現， 視覚情報科学， 人間計測の方法	
			マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(情報メディア創成学類開設) マークアップ言語， 画像・映像情報処理， 音楽・音響情報処理， ◎インタラクションデザイン	
	情報と職業	1以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業	
合計 (高校一種)	20				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，〇〇及び〇〇とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		中学校			
社	日本史及び外国史	1 以上	日本史	(比較文化学類開設) ◎ <u>日本研究概論 I・II (2科目セット)</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>共生のための歴史学</u> (知識情報・図書館学類開設) 日本図書館学	下線2つから1つ選択必修
			外国史	(比較文化学類開設) ◎ <u>欧米研究概論</u> , ◎ <u>アジア研究概論</u> (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>東洋の歴史と文化</u> (知識情報・図書館学類開設) 図書館文化史論	下線2科目から1科目選択必修
会	地理学 (地誌を含む。)	1 以上	地理学 (地誌を含む。)	(地球学類開設) ◎人文地理学, ◎地誌学 (知識情報・図書館学類開設) 教育文化政策	
	「法律学, 政治学」	1 以上	「法律学, 政治学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報法, 知的財産権論 A	
	「社会学, 経済学」	1 以上	「社会学, 経済学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎メディア社会学, 量的調査法, メディア社会文化論, 質的調査法, 情報行動論, 経営・組織論	
	「哲学, 倫理学, 宗教学」	1 以上	「哲学, 倫理学, 宗教学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎哲学, 知識論	
	合 計 (中学一種)	2 0			

(注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
公  民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	1 以上	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	（知識情報・図書館学類開設） ◎ 情報法， 知的財産権論 A	
	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	1 以上	「社会学，経済学（国際経済を含む。）」	（知識情報・図書館学類開設） ◎ メディア社会学， 量的調査法， メディア社会文化論， 質的調査法， 情報行動論， 経営・組織論	
	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	1 以上	「哲学，倫理学，宗教学，心理学」	（知識情報・図書館学類開設） ◎ 哲学， 知識論， メディア教育の実践と評価	
合 計 (高校一種)		2 0			

(注) 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。

情報学群 知識情報・図書館学類

免許教科	免許法に規定する科目			区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校	高等学校			
数	代数学	1 以上	1 以上	代数学	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報数学B, 情報数学	
	幾何学	1 以上	1 以上	幾何学	(情報メディア創成学類開設) ◎CG基礎, 情報数学C, インタラクティブCG	
	解析学	1 以上	1 以上	解析学	(情報科学類開設) ◎微分積分B 数値計算法, 解析学Ⅲ, 複素関数論 (情報メディア創成学類開設) ◎微分積分B	下線2科目 から1科目 選択必修
学	「確率論, 統計学」	1 以上	1 以上	「確率論, 統計学」	(知識情報・図書館学類開設) ◎統計, 多変量解析, 機械学習, データマイニング	
	コンピュータ	1 以上	1 以上	コンピュータ	(知識情報・図書館学類開設) ◎データ構造とアルゴリズム, 知識情報演習Ⅲ	
合 計 (中学一種, 高校一種)		2 0	2 0			

(注) 1. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。



情報学群 知識情報・図書館学類

免許 教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数			
		高等学校			
情 報	情報社会及び情報倫理	1 以上	情報社会及び 情報倫理	(情報学群開設) ◎情報社会と法制度, 知的財産概論	
	コンピュータ及び情報処理(実習を含む。)	1 以上	コンピュータ 及び情報処理 (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎プログラミング演習Ⅰ, データ表現と処理, コンピュータシステムとネットワーク	
	情報システム(実習を含む。)	1 以上	情報システム (実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎情報検索システム, データベース概説, 自然言語解析基礎	
	情報通信ネットワーク(実習を含む。)	1 以上	情報通信ネット ワーク(実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎Webプログラミング, クラウドコンピューティング	
	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	1 以上	マルチメディア表現及び技術(実習を含む。)	(知識情報・図書館学類開設) ◎マルチメディアシステム, ◎プログラミング演習Ⅱ, デジタルドキュメント, 情報デザインとインタフェース, マークアップ言語	
	情報と職業	1 以上	情報と職業	(教職科目その他開設) ◎情報と職業 (知識情報・図書館学類開設) インターンシップ	
	合 計 (高校一種)	20			

(注) 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

医学群 看護学類[平成31年度(令和元年度)以降入学者用]

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	養護に関する科目	最低修得単位数 養護教諭			
養 護 教 諭	衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	4以上	衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む。)	(看護学類開設) ◎疫学 ◎保健統計学	予防医学を含む 予防医学を含む
	学校保健	2以上	学校保健	(看護学類開設) ◎公衆衛生看護学概論 ◎職域における保健活動	
	養護概説	2以上	養護概説	(看護学類開設) ◎養護概説 ◎生涯発達と家族支援	
	健康相談活動の理論及び方法	2以上	健康相談活動の理論及び方法	(看護学類開設) ◎心の健康と相談活動 ◎臨床看護学概論	
	栄養学(食品学を含む。)	2以上	栄養学(食品学を含む。)	(看護学類開設) ◎人体の代謝と栄養 ◎基本看護技術	食品学を含む
	解剖学及び生理学	2以上	解剖学及び生理学	(看護学類開設) ◎人体構造学 ◎人体機能学 ◎機能形態学演習	
	「微生物学, 免疫学, 薬理概論」	2以上	「微生物学, 免疫学, 薬理概論」	(看護学類開設) ◎臨床薬理学 (医療科学類開設) ◎微生物学	
	精神保健	2以上	精神保健	(看護学類開設) ◎精神看護学概論 ◎精神看護方法論	
	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	10以上	看護学(臨床実習及び救急処置を含む。)	(看護学類開設) ◎基礎看護学概論 ◎基本看護技術演習 ◎ウィメンズヘルス看護学概論 ◎母性看護方法論 ◎高齢者看護学概論 ◎疾病の成りたちと回復促進 ◎看護技術実習	
合 計	28				

- (注) 1. 養護に関する科目の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 養護に関する科目の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

医学群 看護学類（平成30年度以前入学者用）

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	養護に関する科目	最低修得単位数			
		養護教諭			
養          護          教          諭	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	4以上	衛生学及び公衆衛生学（予防医学を含む。）	(看護学類開設) 人間環境論 疫学 環境保健学演習 保健統計学	予防医学を含む 〃 予防医学を含む
	学校保健	2以上	学校保健	(看護学類開設) 学校保健 公衆衛生看護学概論	
	養護概説	2以上	養護概説	(看護学類開設) 養護概説 健康教育論	
	健康相談活動の理論及び方法	2以上	健康相談活動の理論及び方法	(看護学類開設) カウンセリング論	
	栄養学（食品学を含む。）	2以上	栄養学（食品学を含む。）	(看護学類開設) 人体の代謝と栄養 食物・栄養学演習	食品学を含む 〃
	解剖学及び生理学	2以上	解剖学及び生理学	(看護学類開設) 人体の構造と機能Ⅰ 人体の構造と機能Ⅱ 機能形態学演習 臨床病態学	
	「微生物学，免疫学，薬理概論」	2以上	「微生物学，免疫学，薬理概論」	(看護学類開設) 臨床薬理学 感染と免疫	
	精神保健	2以上	精神保健	(看護学類開設) 精神看護学概論 精神保健看護方法論	
	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	10以上	看護学（臨床実習及び救急処置を含む。）	(看護学類開設) 基礎看護学概論 基本看護技術 基本看護技術演習 フィジカルアセスメント 基本看護学実習Ⅰ（看護過程実習） 基本看護学実習Ⅱ（基礎看護技術実習） クリティカルケア看護学実習 精神看護学実習 母性看護学実習 小児看護学実習	
合 計	28				

(注) 1. 養護に関する科目の欄中，( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 養護に関する科目の欄中，〇〇及び〇〇とあるものは両科目修得しなければならない。

体育専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考	
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位数				
		中学校				高等学校
保 健 体 育	体育実技	1 以上	1 以上	体育実技	(体育専門学群開設) ◎学校体育実技, 実技理論・実習 (A群) 体操, ダンス, (B群) 陸上競技, 器械運動, (C群) 水泳競技, 野外運動, (D群) バレーボール, バスケットボール, ハンドボール, (E群) サッカー, ラグビー, (F群) テニス, バドミントン, 卓球, ソフトボール, (G群) 柔道, 剣道, 弓道, (H群) 臨海実習, 野外運動(雪上)	
	「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」及び運動学(運動方法学を含む。)	1 以上	1 以上	「体育原理, 体育心理学, 体育経営管理学, 体育社会学, 体育史」	(体育専門学群開設) 体育・スポーツ心理学, 体育・スポーツ経営学, スポーツ社会学, 体育・スポーツ史, 武道学Ⅰ, 武道学Ⅱ, ◎体育哲学, スポーツ哲学	
				運動学(運動方法学を含む。)	(体育専門学群開設) ◎運動学Ⅰ, 運動学Ⅱ, 一般コーチング学, 一般トレーニング学	
	生理学(運動生理学を含む。)	1 以上	1 以上	生理学(運動生理学を含む。)	(体育専門学群開設) 生理学, ◎運動生理学, 運動生化学	
	衛生学及び公衆衛生学	1 以上	1 以上	衛生学及び公衆衛生学	(体育専門学群開設) ◎衛生・公衆衛生学, 環境保健学	
	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)	1 以上	1 以上	学校保健(小児保健, 精神保健, 学校安全及び救急処置を含む。)	(体育専門学群開設) ◎学校保健学Ⅰ(小児保健及び学校安全を含む), 学校保健学Ⅱ, ◎健康教育学(精神保健を含む), 精神保健学, 健康社会学, ◎スポーツ医学Ⅰ(救急処置を含む)	
合 計 (中学一種, 高校一種)	2 0	2 0				

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 教科に関する専門的事項の欄中, 「」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 4. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備考		
	教科に関する専門的事項	最低修得単位数					
		中学校				高等学校	
美	絵画（映像メディア表現を含む。）	1以上	1以上	絵画 （芸術専門学群開設） 芸術（油彩画実習） 素描実習Ⅰ－1～2 素描実習Ⅱ－A－1～2 素描実習Ⅱ－B－1～2 版画基礎実習－1～2 日本画基礎実習1～2 油絵基礎実習 油絵実習Ⅰ－A－1～2 油絵実習Ⅰ－B－1～2 油絵実習Ⅰ－C－1～2 油絵実習Ⅰ－D－1～2 油絵実習Ⅱ－A－1～2 油絵実習Ⅱ－B－1～2 油絵実習Ⅱ－C－1～2 油絵実習Ⅱ－D－1～2 日本画実習Ⅰ－A－1～2 日本画実習Ⅰ－B－1～2 日本画実習Ⅰ－C－1～2 日本画実習Ⅰ－D－1～2 日本画実習Ⅱ－A－1～2 日本画実習Ⅱ－B－1～2 日本画実習Ⅱ－C－1～2 日本画実習Ⅱ－D－1～2 版画実習A－1～2 版画実習B－1～2 洋画野外風景実習Ⅰ 洋画野外風景実習Ⅱ 洋画野外風景実習Ⅲ 日本画実習基礎Ⅰ－1～2 日本画実習基礎Ⅱ 野外風景実習Ⅰ 野外風景実習Ⅱ リトグラフ演習 版画演習A 版画演習B			
				絵画（映像メディア表現を含む。） ◎素描基礎演習1～2	下線2科目から1科目選択必修		
術	彫刻	1以上	1以上	彫刻 （芸術専門学群開設） 芸術（塑造実習） 塑造実習Ⅰ－A－1～2 塑造実習Ⅰ－B－1～2 彫塑論・演習Ⅰ 彫塑論・演習Ⅱ 彫刻実習Ⅰ－A－1～2 彫刻実習Ⅰ－B－1～2 鋳造実習Ⅰ 鋳造実習Ⅱ 総合造形技法基礎Ⅰ 総合造形技法基礎Ⅱ ◎彫塑基礎演習1～3 ◎彫塑概論	塑造実習Ⅱ－A－1～2 塑造実習Ⅱ－B－1～2 塑造実習Ⅱ－C－1～2 塑造実習Ⅱ－D－1～2 塑造実習Ⅲ－A 塑造実習Ⅲ－B 塑造実習Ⅲ－C 塑造実習Ⅲ－D 彫刻基礎実習 彫刻実習Ⅱ－A 彫刻実習Ⅱ－B 彫塑特別実習Ⅰ 彫塑特別実習Ⅱ	下線4科目から1科目選択必修	
				デザイン （映像メディア表現を含む。）	デザイン （芸術専門学群開設） 造形心理学 平面構成演習 平面構成総合演習 立体構成総合演習 色彩構成演習Ⅰ 色彩構成演習Ⅱ ビジュアルデザイン演習A ビジュアルデザイン演習B 生産材料・技術論 総合造形表現演習Ⅰ 総合造形表現演習Ⅱ 総合造形創作演習B	総合造形創作演習A－Ⅰ・Ⅱ 展示造形・パフォーマンスⅠ 展示造形・パフォーマンスⅡ 建築史 デザインイノベーション論 都市デザイン論 住宅地計画論 デザイン史概説A デザイン史概説B	
				デザイン（映像メディア表現を含む。） ◎ビジュアルデザイン概論 ◎造形発想論 ◎画像論 ◎デジタル写真基礎演習	下線4科目から1科目選択必修		
美術	工芸	1以上	－	工芸 （芸術専門学群開設） 工芸基礎演習（ガラス） 工芸基礎演習（陶磁） 工芸基礎演習（木工） テラコッタ実習 陶磁基礎演習 木工基礎演習 ガラス基礎演習	油彩画基礎演習1 油彩画基礎演習2 日本画基礎演習1 日本画基礎演習2 立体加工基礎演習 洋画技法演習 漆芸技法演習		

				油絵基礎技法演習 日本画技法演習 ◎ <u>工芸概論</u> ◎ <u>建築デザイン概論</u> ◎ <u>環境デザイン概論</u> デザイン基礎演習1-I~II デザイン基礎演習2-I~II	ロクロ技法演習	下線3科目 から1科目 選択必修 (中学のみ)
美術理論 及び美術 史(鑑賞 並びに日 本の伝統 美術及び アジアの 美術を含 む。)	1以上	1以上	美術理 論	(芸術専門学群開設)		美術史 (鑑賞並 びに日本 の伝統美 術及びア ジアの美 術を含 む。)
				美術論A-1~2 美術論B-1~2 芸術解剖学I 芸術解剖学II 洋画概論 洋画技法論 洋画構想論 日本画概論 日本画技法論 版画概論 総合造形概論	芸術学概論-1 芸術学概論-2 芸術支援学概論 日本画鑑賞研究 芸術支援学IA-1~2 芸術表現と支援ツール-1 ~2 芸術学習のサポート 芸術支援学IIA-1~2 芸術支援学IIB-1~2 クリエイティブ・アート・ ライティング-1~2	
			美術史	(芸術専門学群開設)		
合計 (中学一種, 高校一種)	20	20				下線4科目 から1科目 選択必修

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中, ( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
2. 教科に関する専門的事項の欄中, ○○及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
3. 本学における開設授業科目の欄中, ◎の付してあるものは, 免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)		備考	
	教科に関する専門的事項	最低修得単位数					
		高等学校					
工	図法及び製図	1以上	図法及び製図	(芸術専門学群開設) デザイン基礎演習1-I~II デザイン基礎演習2-I~II 建築製図基礎演習 レンダリング基礎演習		デザイン演習1-A・B デザイン演習2-A・B デザイン演習5-A・B デザイン演習6-A・B ◎プレゼンテーション基礎演習	
	デザイン	1以上	デザイン	(芸術専門学群開設) 平面構成演習 平面構成総合演習 立体構成総合演習 色彩構成演習I 色彩構成演習II ビジュアルデザイン演習A ビジュアルデザイン演習B ◎ビジュアルデザイン概論 ◎造形発想論 ◎画像論 ◎デジタル写真基礎演習 造形心理学 建築史		総合造形創作演習B 総合造形表現演習I 総合造形表現演習II 総合造形創作演習A-I~II 展示造形・パフォーマンスI 展示造形・パフォーマンスII デザイン史概説A デザイン史概説B デザインインノベーション論	下線4科目から1科目選択必修
	工芸制作 (プロダクト制作を含む。)	1以上	工芸制作	(芸術専門学群開設) 工芸基礎演習(ガラス) 工芸基礎演習(陶磁) 工芸基礎演習(木工) テラコッタ実習 油絵基礎技法演習 日本画技法演習		油彩画基礎演習1~2 日本画基礎演習1~2 彫塑基礎演習1 洋画技法演習 漆芸技法演習 ロクロ技法演習	
			工芸制作 (プロダクト制作を含む。)	◎陶磁基礎演習 ◎木工基礎演習	◎ガラス基礎演習 ◎立体加工基礎演習	下線4科目から1科目選択必修	
芸	工芸理論、デザイン理論及び美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	1以上	工芸理論、デザイン理論	(芸術専門学群開設) 工芸概論 総合造形概論 建築デザイン概論 環境デザイン概論 都市デザイン論 住宅地計画論 美術史特講A-1~2 美術史特講B-1~2 美術史特講C-1~2 美術史特講D-1~2 美術史演習A-1~2		美術史演習B-1~2 美術史演習C-1~2 美術史演習D-1~2 芸術支援学概論 芸術支援学IA-1~2 芸術表現と支援ツール1~2 芸術学習のサポート 芸術支援学IIA-1~2 芸術支援学IIB-1~2 クリエイティブ・アート・ライティング-1~2	
			美術史	彫刻史A-I~II			
			美術史(鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。)	◎美術史概説A-1~2 ◎美術史概説B-1~2			下線4科目から1科目選択必修
			デザイン理論	生産材料・技術論			
合計 (高校一種)		20					

(注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中、( )内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中、◎及び○○とあるものは両科目修得しなければならない。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中、◎の付してあるものは、免許取得の際の必修科目を表す。

芸術専門学群

免許教科	免許法に規定する科目		区 分	本学における開設授業科目 (開設学群・学類)	備 考
	教科に関する 専門的事項	最低修得単位 数			
		高等学校			
書	書道（書写を含む。）	1 以上	書道（書写を含む。）	(芸術専門学群開設) ◎書実習基礎Ⅰ－1～2 ◎書実習基礎Ⅱ－1～2 書実習漢字制作A－1～2 書実習漢字制作B－1～2 書実習漢字制作C－1～2 書実習仮名制作A－1～2 書実習仮名制作B－1～2 書実習仮名制作C－1～2	
	書道史	1 以上	書道史	(芸術専門学群開設) ◎中国書法史Ⅰ ◎中国書法史Ⅱ ◎日本書道史Ⅰ ◎日本書道史Ⅱ	
	「書論，鑑賞」	1 以上	「書論，鑑賞」	(芸術専門学群開設) ◎書鑑賞論Ⅰ ◎書鑑賞論Ⅱ 書学方法論Ⅰ 書学方法論Ⅱ	
道	「国文学，漢文学」	1 以上	「国文学，漢文学」	(比較文化学類開設) ◎ <u>日本文学概論</u> ◎ <u>日本文学講読 1</u> 日本文学講読 2～8 日本文学史 中国文学史 ◎ <u>中国文学概論</u> 中国文学講読Ⅰ～Ⅱ (日本語・日本文化学類開設) ◎ <u>日本の文学概論</u> ◎ <u>日本文学の歴史</u> ◎ <u>中国文学と日本文学</u> ◎ <u>中国文学と日本文学演習Ⅰ</u>	下線7科目 から1科目 選択必修
合 計 (高校一種)		2 0			

- (注) 1. 教科に関する専門的事項の欄中，( ) 内のものは必ず含めて修得しなければならない。  
 2. 教科に関する専門的事項の欄中，「 」内のものは1科目以上にわたり修得すればよい。  
 3. 本学における開設授業科目の欄中，◎の付してあるものは，免許取得の際の必修科目を表す。